イベントを管理する
Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/events/concept_what_active_iq_platform_events_are.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

イベントを管理する 1
Active IQ Unified Manager の Active IQ プラットフォームイベントについて 1
イベント管理システム イベントとは 1
Active IQ Unified Manager のイベント管理システムのイベントについて 1
Active IQ Unified Manager に自動的に追加される EMS イベント 2
Active IQ Unified Manager で ONTAP EMS イベントをサブスクライブする 5
Active IQ Unified Manager が受信したイベントを処理する方法を理解する 6
Active IQ Unified Manager でイベントの詳細を表示する 7
Active IQ Unified Manager で未割り当てイベントを表示する 8
Active IQ Unified Manager でイベントを確認して解決する 8
Active IQ Unified Manager で特定のユーザーにイベントを割り当てる 9
Active IQ Unified Manager で不要なイベントを無効にする 10
Active IQ Unified Manager の自動修復を使用して問題を修正する 11
Active IQ Unified Manager で Active IQ イベントレポートを有効化および無効化する 12
Active IQ Unified Manager で新しい Active IQ ルールファイルをアップロードする 13
Active IQ Unified Manager が Active IQ プラットフォームイベントを生成する仕組み 14
Active IQ Unified Manager で Active IQ プラットフォームイベントを解決する 14
Active IQ Unified Manager でイベント保持設定を構成する 15
Unified Manager のメンテナンスウィンドウとは 16
Active IQ Unified Manager のメンテナンス ウィンドウについて 16
Active IQ Unified Manager でクラスターイベント通知を無効にするメンテナンスウィンドウをスケジュールする 16
Active IQ Unified Manager で予定されているメンテナンスウィンドウを変更またはキャンセルする 17
Active IQ Unified Manager でメンテナンス期間中に生成されたイベントを表示する 17
Active IQ Unified Manager でホストシステムリソースイベントを管理する 18
イベントの詳細を理解する 18
Active IQ Unified Manager のイベントの状態 18
Active IQ Unified Manager のイベント重大度タイプについて 19
Active IQ Unified Manager のイベントの影響レベルについて 20
Active IQ Unified Manager のイベントの影響範囲について 20
Active IQ Unified Manager がオブジェクトのステータスを計算する方法 21
Active IQ Unified Manager の動的パフォーマンスイベントについて 21
Active IQ Unified Manager によって検出された構成変更 23
イベントおよび重大度タイプのリスト 24
Active IQ Unified Manager のアグリゲートイベントの詳細 24
Active IQ Unified Manager のクラスターイベントについて学ぶ 27
Active IQ Unified Manager のディスクイベントについて 32
Active IQ Unified Manager のエンクロージャーイベントについて 33
Active IQ Unified Manager のファンイベントについて 34

Active IQ Unified Manager のフラッシュカードイベントについて . . . 34
Active IQ Unified Manager の inode イベントについて . . . 35
Active IQ Unified Manager のネットワークインターフェイスイベント . . . 35
Active IQ Unified Manager の LUN イベントについて . . . 37
Active IQ Unified Manager の管理ステーション イベントについて . . . 41
Active IQ Unified Manager の MetroCluster ブリッジイベントについて . . . 43
Active IQ Unified Manager の MetroCluster 接続イベントについて . . . 43
MetroCluster スイッチイベントについて Active IQ Unified Manager で学ぶ . . . 46
Active IQ Unified Manager の NVMe 名前空間イベントについて . . . 47
Active IQ Unified Manager のノードイベントについて . . . 49
Active IQ Unified Manager の NVRAM バッテリーイベントについて . . . 52
Active IQ Unified Manager のポートイベントについて . . . 53
Active IQ Unified Manager の電源装置イベントについて . . . 54
Active IQ Unified Manager の保護イベントについて . . . 54
Active IQ Unified Manager の Qtree イベントについて . . . 55
Active IQ Unified Manager のサービスプロセッサイベントについて . . . 55
Active IQ Unified Manager の SnapMirror 関係イベントについて . . . 56
Active IQ Unified Manager における非同期ミラーと Vault の関係イベントについて . . . 58
Active IQ Unified Manager のスナップショットイベントについて . . . 59
Active IQ Unified Manager の SnapVault 関係イベントについて . . . 59
Active IQ Unified Manager のストレージフェイルオーバー設定イベントの詳細 . . . 60
Active IQ Unified Manager のストレージサービスイベントについて . . . 61
Active IQ Unified Manager のストレージシェルフイベントについて . . . 62
Active IQ Unified Manager のストレージ VM イベントについて . . . 62
Active IQ Unified Manager のユーザーおよびグループ クォータイベントについて . . . 66
Active IQ Unified Manager のボリュームイベントについて . . . 67
Active IQ Unified Manager のボリューム移動ステータスイベントについて . . . 76
イベントのウィンドウとダイアログ ボックスの説明 . . . 76
Active IQ Unified Manager の通知ページについて . . . 76
Active IQ Unified Manager のイベント管理インベントリページについて . . . 78
[イベントの詳細]ページ . . . 82
Active IQ Unified Manager のイベント設定ページについて . . . 87
Active IQ Unified Manager でイベントダイアログボックスを無効にする . . . 88

イベントを管理する

Active IQ Unified Manager の Active IQ プラットフォームイベントについて

Unified Managerでは、Active IQプラットフォームで検出されたイベントを表示できます。これらのイベントは、Unified Managerで監視しているすべてのストレージ システムから生成されたAutoSupportメッセージに対して一連のルールを実行することによって作成されます。

詳細については、"Active IQプラットフォーム イベントの生成方法"を参照してください。

Unified Managerは、新しいルール ファイルの有無を自動的にチェックし、ある場合にのみ新しいファイルをダウンロードします。外部へのネットワーク アクセスがないサイトでは、ストレージ管理 > イベント設定 > ルールのアップロード からルールを手動でアップロードする必要があります。

これらのActive IQのイベントは、Unified Managerの既存のイベントとは重複せず、システム構成、ケーブル配線、ベストプラクティス、および可用性の問題に関連するインシデントやリスクを特定します。

プラットフォームイベントの有効化の詳細については、"Active IQポータル イベントの有効化" を参照してください。ルールファイルのアップロードの詳細については、"新しいActive IQルール ファイルのアップロード" を参照してください。

NetApp Active IQは、NetAppハイブリッドクラウド全体のストレージシステム運用を最適化するために、予測分析とプロアクティブなサポートを提供するクラウドベースのサービスです。詳細については、 "NetApp Active IQ"を参照してください。

イベント管理システム イベントとは

Active IQ Unified Manager のイベント管理システムのイベントについて

Event Management System（EMS;イベント管理システム）では、ONTAPカーネルのさまざまな部分からイベント データが収集され、イベント転送のメカニズムが提供されます。これらのONTAPイベントは、Unified ManagerでEMSイベントとして報告できます。一元的な監視と管理により、重要なEMSイベントの設定や、これらのEMSイベントに基づくアラート通知の設定が容易になります。

Unified Managerにクラスターを追加すると、Unified Managerのアドレスがクラスターの通知先として追加されます。EMSイベントは、クラスター内でイベントが発生するとすぐに報告されます。

Unified Manager で EMS イベントを受信する方法は 2 つあります。

- 一定数の重要なEMSイベントは自動的に報告されます。
- EMSイベントを受け取るように個別に登録することができます。

Unified Managerによって生成されるEMSイベントは、イベントが生成された方法によって報告方法が異なります。

機能	自動**EMS**メッセージ	購読済み**EMS**メッセージ
使用可能なEMSイベント	一部のEMSイベント	すべてのEMSイベント
EMSメッセージがトリガーされたときの名前	Unified Manager イベント名（EMS イベント名から変換）	固有でない「エラーの EMS を受信」の形式。詳細なメッセージに実際のEMSイベントをドット表記の形式で記載
メッセージの受信	クラスタの検出後すぐ	必要な EMS イベントをそれぞれ Unified Manager に追加した後、次の 15 分間隔のポーリングサイクルが経過した後
イベントのライフサイクル	他の Unified Manager イベントと同様：新規、承認済み、解決済み、廃止済み状態	EMSイベントはクラスタが更新されると廃止になる（イベントが作成されてから15分後）
Unified Managerのダウンタイム中に発生したイベントをキャプチャします。	システムの起動時に各クラスタと通信して不足しているイベントを取得	×
イベントの詳細	推奨される対処方法をONTAPから直接インポートして一貫した解決策を提示	イベント詳細ページでは修正措置は利用できません

新しい自動EMSイベントの中には、以前のイベントが解決されたことを示す情報イベントが含まれています。たとえば、「FlexGroup コンスティチュエントのスペース ステータスがすべて正常」情報イベントは、「FlexGroup コンスティチュエントのスペースに問題あり」エラー イベントが解決されたことを示します。情報イベントは、他のイベントの重要度タイプと同じイベントライフサイクルを使用して管理することはできませんが、同じボリュームが別の「`Space Issues`」エラーイベントを受信すると、イベントは自動的に廃止されます。

Active IQ Unified Manager に自動的に追加される **EMS** イベント

Unified Managerには次のONTAP EMSイベントが自動的に追加されます。これらのイベントは、Unified Managerが監視しているいずれかのクラスタでトリガーされると生成されます。

ONTAP 9.5以降のソフトウェアを実行しているクラスタの監視では、次のEMSイベントを使用できます。

Unified Manager イベント名	**EMS**イベント名	影響を受けるリソース	**Unified Manager**の重大度
アグリゲートの再配置でクラウド階層へのアクセス拒否	arl.netra.ca.check.failed	Aggregate	エラー
ストレージ フェイルオーバー時のアグリゲートの再配置でクラウド階層へのアクセス拒否	gb.netra.ca.check.failed	Aggregate	エラー

Unified Manager イベント名	**EMS**イベント名	影響を受けるリソース	**Unified Manager**の重大度
FabricPool のミラー レプリケーションの再同期が完了	wafl.ca.resync.complete	クラスタ	エラー
FabricPool スペースがほぼフル	fabricpool.nearly.full	クラスタ	エラー
NVMF の猶予期間 - 開始	nvmf.graceperiod.start	クラスタ	警告
NVMF の猶予期間 - アクティブ	nvmf.graceperiod.active	クラスタ	警告
NVMF の猶予期間 - 終了	nvmf.graceperiod.expired	クラスタ	警告
LUN を破棄	lun.destroy	LUN	情報
Cloud AWS メタデータ接続エラー	cloud.aws.metadataConnFail	ノード	エラー
Cloud AWS IAM クレデンシャルが期限切れ	cloud.aws.iamCredsExpired	ノード	エラー
Cloud AWS IAM クレデンシャルが無効	cloud.aws.iamCredsInvalid	ノード	エラー
Cloud AWS IAM クレデンシャルが見つからない	cloud.aws.iamCredsNotFound	ノード	エラー
Cloud AWS IAM クレデンシャルが初期化されていない	cloud.aws.iamNotInitialized	ノード	情報
Cloud AWS IAM ロールが無効	cloud.aws.iamRoleInvalid	ノード	エラー
Cloud AWS IAM ロールが見つからない	cloud.aws.iamRoleNotFound	ノード	エラー
クラウド階層のホスト解決不可	objstore.host.unresolvable	ノード	エラー
クラウド階層のクラスタ間ネットワーク インターフェイスが停止	objstore.interclusterlifDown	ノード	エラー
要求とクラウド階層シグネチャの不一致	osc.signatureMismatch	ノード	エラー
NFSv4 プールの 1 つに空きなし	Nblade.nfsV4PoolExhaustを使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	ノード	重大
QoS 監視メモリの最大化	qos.monitor.memory.maxed	ノード	エラー
QoS 監視メモリの縮小	qos.monitor.memory.abated	ノード	情報

Unified Manager イベント名	**EMS**イベント名	影響を受けるリソース	**Unified Manager**の重大度
NVMe ネームスペースの破棄	NVMeNS.destroy	ネームスペース	情報
NVMe ネームスペース オンライン	NVMeNS.offline	ネームスペース	情報
NVMe ネームスペース オフライン	NVMeNS.online	ネームスペース	情報
NVMe ネームスペース スペース不足	NVMeNS.out.of.space	ネームスペース	警告
同期レプリケーションが同期されていない	sms.status.out.of.sync	SnapMirror関係	警告
同期レプリケーションをリストア	sms.status.in.sync	SnapMirror関係	情報
同期レプリケーションの自動再同期失敗	sms.resync.attempt.failed	SnapMirror関係	エラー
多数の CIFS 接続	Nblade.cifsManyAuths	SVM	エラー
最大 CIFS 接続数を超過	Nblade.cifsMaxOpenSameFile	SVM	エラー
ユーザあたりの最大 CIFS 接続数を超過	Nblade.cifsMaxSessPerUsrConn	SVM	エラー
CIFS NetBIOS 名が競合	Nblade.cifsNbNameConflict	SVM	エラー
存在しない CIFS 共有に対する試行	Nblade.cifsNoPrivShare	SVM	重大
CIFS シャドウ コピー処理が失敗	cifs.shadowcopy.failure	SVM	エラー
AV サーバがウィルスを検出	Nblade.vscanVirusDetected	SVM	エラー
ウィルス スキャン用の AV サーバ接続がない	Nblade.vscanNoScannerConn	SVM	重大
AV サーバが未登録	Nblade.vscanNoRegdScanner	SVM	エラー
応答する AV サーバ接続がない	Nblade.vscanConnInactive	SVM	情報
AV サーバがビジーのため新しいスキャン要求の受け入れ不可	Nblade.vscanConnBackPressure	SVM	エラー
権限のないユーザが AV サーバへのアクセスを試行	Nblade.vscanBadUserPrivAccess	SVM	エラー

Unified Manager イベント名	EMSイベント名	影響を受けるリソース	Unified Managerの重大度
FlexGroup コンスティチュエントのスペースに問題あり	flexgroup.constituents.have.space.issues	Volume	エラー
FlexGroup コンスティチュエントのスペース ステータスがすべて正常	flexgroup.constituents.space.status.all.ok	Volume	情報
FlexGroup コンスティチュエントの inode に問題あり	flexgroup.constituents.have.inodes.issues	Volume	エラー
FlexGroup コンスティチュエントの inode ステータスがすべて正常	flexgroup.constituents.inodes.status.all.ok	Volume	情報
ボリューム論理スペースがほぼフル	monitor.vol.nearFull.inc.sav	Volume	警告
ボリューム論理スペースがフル	monitor.vol.full.inc.sav	Volume	エラー
ボリューム論理スペースが正常	monitor.vol.one.ok.inc.sav	Volume	情報
WAFL ボリュームのオートサイズが失敗	wafl.vol.autoSize.fail	Volume	エラー
WAFL ボリュームのオートサイズ完了	wafl.vol.autoSize.done	Volume	情報
WAFL READDIR ファイル処理タイムアウト	wafl.readdir.expired	Volume	エラー

Active IQ Unified Manager で ONTAP EMS イベントをサブスクライブする

ONTAPソフトウェアがインストールされているシステムで生成されたEvent Management System（EMS;イベント管理システム）イベントを受け取るように登録することができます。一部のEMSイベントはUnified Managerに自動的に報告されますが、それ以外のEMSイベントは登録している場合にのみ報告されます。

開始する前に

同じ問題に対するイベントを2つ受け取って混乱を招く可能性があるため、Unified Managerにすでに自動的に追加されているEMSイベントは登録しないでください。

EMSイベントはいくつでも登録できます。登録したすべてのイベントが検証され、検証済みのイベントだけがUnified Managerで監視しているクラスタに適用されます。_ONTAP 9 EMSイベントカタログ_は、指定されたバージョンのONTAP 9ソフトウェアのすべてのEMSメッセージに関する詳細情報を提供します。該当するイベントの一覧については、ONTAP 9製品ドキュメントページから適切なバージョンの_EMSイベントカタログ_を参照してください。

"ONTAP 9製品ライブラリ"

登録したONTAP EMSイベントにアラートを設定したり、それらのイベントに対して実行するカスタム スクリプトを作成したりできます。

登録したONTAP EMSイベントが届かない場合は、クラスタのDNS設定に問題があり、クラスタからUnified Managerサーバに到達できなくなっていることが考えられます。その場合は、クラスタ管理者がクラスタのDNS設定を修正し、Unified Managerを再起動する必要があります。これにより、保留中のEMSイベントがUnified Managerサーバに送信されます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 > イベント設定 をクリックします。
2. イベント設定ページで、*EMSイベントを購読する*ボタンをクリックします。
3. [EMSイベントにサブスクライブ]ダイアログ ボックスで、登録するONTAP EMSイベントの名前を入力します。

   購読できる EMS イベントの名前を表示するには、ONTAP クラスターシェルから `event route show`コマンド（ONTAP 9 より前）または `event catalog show`コマンド（ONTAP 9 以降）を使用できます。

   "Active IQ Unified ManagerでONTAP EMSイベント サブスクリプションを設定してアラートを受信する方法"

4. *[追加]*をクリックします。

   EMSイベントは「購読済みEMSイベント」リストに追加されますが、「適用対象クラスタ」列には、追加したEMSイベントのステータスが「`Unknown`」と表示されます。

5. *保存して閉じる*をクリックして、EMSイベントのサブスクリプションをクラスターに登録します。
6. 「EMSイベントを購読する」をもう一度クリックしてください。

   追加したEMSイベントの「適用対象クラスタ」列に「`Yes`」というステータスが表示されます。

   ステータスが「`Yes`」でない場合は、ONTAP EMSイベント名のスペルを確認してください。名前が正しく入力されていない場合は、誤ったイベントを削除してから、再度イベントを追加する必要があります。

ONTAP EMSイベントが発生すると、そのイベントが[イベント]ページに表示されます。イベントを選択すると、EMSイベントに関する詳細を[イベントの詳細]ページで確認できます。イベントの処理を管理したり、イベントのアラートを作成したりすることもできます。

Active IQ Unified Manager が受信したイベントを処理する方法を理解する

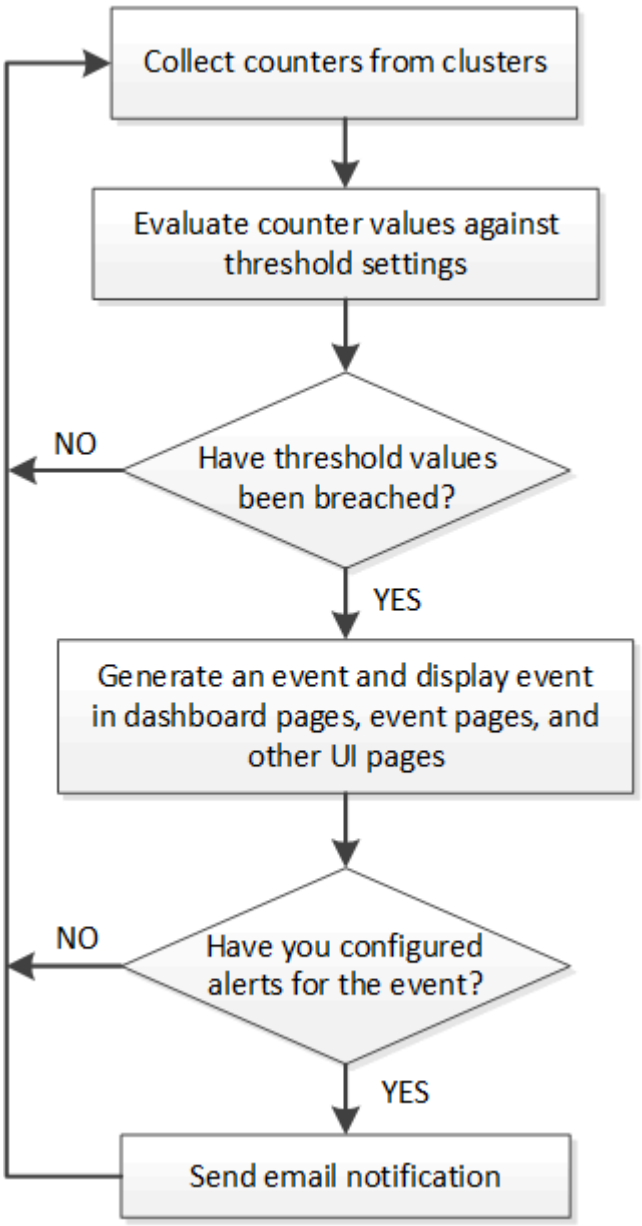
Unified Managerで受信したイベントは、[ダッシュボード]ページ、[イベント管理]インベントリ ページ、[クラスタ / パフォーマンス]ページの[サマリ]タブと[エクスプローラ]タブ、およびオブジェクトごとのインベントリ ページ（[ボリューム / 健全性]インベントリ ページなど）に表示されます。

Unified Manager は、同じクラスタ コンポーネントに対して同じイベント条件が複数回連続して発生したことを検出した場合、それらを個別のイベントとしてではなく、単一のイベントとして扱います。イベントの継続時間は、イベントがまだ進行中であることを示すために増加します。

[アラート セットアップ]ページの設定に応じて、イベントを他のユーザに通知することができます。アラートにより、次の処理が開始されます。

- イベントに関するメールは、すべての Unified Manager 管理者ユーザーに送信できます。
- イベントを追加のEメール受信者に送信できます。
- SNMPトラップをトラップ レシーバに送信できます。
- 処理を実行するカスタム スクリプトを実行できます。

このワークフローを次の図に示します。



Active IQ Unified Manager でイベントの詳細を表示する

Unified Managerがトリガーするイベントに関する詳細を表示して、そのイベントに対処することができます。たとえば、健全性イベントである「ボリュームはオフライン」が

発生した場合は、そのイベントをクリックして詳細を表示し、対処方法を実行することができます。

開始する前に

オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

イベントの詳細には、イベントのソース、イベントの原因、イベントに関連するメモなどの情報が含まれます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、*イベント管理*をクリックします。

   デフォルトでは、[アクティブなすべてのイベント]ビューが表示されます。このビューには、過去7日間に生成された「新規」と「確認済み」のイベント（アクティブなイベント）で影響レベルが「インシデント」または「リスク」のイベントが表示されます。

2. 特定のカテゴリのイベント（たとえば、容量イベントやパフォーマンスイベントなど）を表示する場合は、「表示」をクリックし、イベントタイプのメニューから選択してください。
3. 詳細を表示するイベントの名前をクリックします。

   [イベントの詳細]ページにイベントの詳細が表示されます。

Active IQ Unified Manager で未割り当てイベントを表示する

未割り当てのイベントを表示して、各イベントを解決できるユーザに割り当てることができます。

開始する前に

オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、*イベント管理*をクリックします。

   [イベント管理]インベントリ ページには、デフォルトでは新規と確認済みのイベントが表示されます。

2. 「フィルター」ペインの「担当者」領域で、「未割り当て」フィルターオプションを選択します。

Active IQ Unified Manager でイベントを確認して解決する

イベントを生成した問題に対処する前に、アラート通知が繰り返し送信されないようにイベントに確認応答する必要があります。特定のイベントに対処したら、そのイベントを解決済みとしてマークします。

開始する前に

オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

同時に複数のイベントに確認応答して解決することができます。

情報イベントに確認応答することはできません。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、*イベント管理*をクリックします。
2. イベントのリストで、次のいずれかを実行してイベントに応答します。

状況	操作
単一のイベントに確認応答して解決済みとしてマークする	a. イベント名をクリックします。 b. [イベントの詳細]ページで、イベントの原因を特定します。 c. *Acknowledge*をクリックします。 d. 適切な方法で対処します。 e. 解決済みとしてマーク をクリックします。
複数のイベントに確認応答して解決済みとしてマークする	a. それぞれの[イベントの詳細]ページで、イベントの原因を特定します。 b. イベントを選択します。 c. *Acknowledge*をクリックします。 d. 適切な方法で対処します。 e. 解決済みとしてマーク をクリックします。

解決済みとしてマークされたイベントは、解決済みイベントのリストに移動します。

3. オプション：*メモと更新*エリアに、イベントへの対応方法に関するメモを追加し、*投稿*をクリックします。

Active IQ Unified Manager で特定のユーザーにイベントを割り当てる

未割り当てのイベントを自分や他のユーザ（リモート ユーザも含む）に割り当てることができます。必要に応じて、割り当てられたイベントを別のユーザに再割り当てすることもできます。たとえば、ストレージ オブジェクトで頻繁に問題が発生する場合、そのオブジェクトを管理するユーザにそれらの問題に対するイベントを割り当てることができます。

開始する前に

- ユーザの名前とEメールIDが正しく設定されている必要があります。
- オペレータ、アプリケーション管理者、またはストレージ管理者のロールが必要です。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、*イベント管理*をクリックします。
2. 「イベント管理」インベントリページで、割り当てたいイベントを1つ以上選択します。

3. 次のいずれかを実行してイベントを割り当てます。

イベントを...に割り当てたい場合は...	操作
自分	[割り当て先] > [自分] をクリックします。
別のユーザ	a. 割り当て先 ＞ 別のユーザー をクリックします。 b. [所有者の割り当て]ダイアログ ボックスで、ユーザの名前を入力するか、ユーザをドロップダウン リストから選択します。 c. 割り当て をクリックします。 ユーザにEメール通知が送信されます。 ユーザー名を入力せず、またはドロップダウンリストからユーザーを選択せずに、*割り当て*をクリックすると、イベントは未割り当てのままになります。

Active IQ Unified Manager で不要なイベントを無効にする

デフォルトでは、すべてのイベントが有効になっています。環境で重要でないイベントについては、グローバルに無効にして通知が生成されないようにすることができます。無効にしたイベントの通知を再開するときは、それらのイベントを有効にできます。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

イベントを無効にすると、システムで以前に生成されたイベントは「廃止」とマークされ、それらのイベントに設定されたアラートはトリガーされなくなります。無効にしたイベントを有効にすると、それらのイベントの通知の生成が次の監視サイクルから再開されます。

オブジェクトのイベントを無効にし（たとえば、 `vol offline`イベント）、その後イベントを有効にした場合、イベントが無効な状態のときにオフラインになったオブジェクトに対して、Unified Manager は新しいイベントを生成しません。Unified Manager は、イベントが再度有効化された後にオブジェクトの状態が変更された場合にのみ、新しいイベントを生成します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 ＞ イベント設定 をクリックします。
2. 「イベント設定」ページで、以下のいずれかのオプションを選択して、イベントを無効または有効にします。

状況	操作
イベントを無効にする	a. **Disable** をクリックします。 b. [イベントの無効化]ダイアログ ボックスで、イベントの重大度を選択します。 c. [一致イベント]列で、イベントの重大度に基づいて無効にするイベントを選択し、右矢印をクリックして[イベントの無効化]列に移動します。 d. 「保存して閉じる」をクリックします。 e. 無効にしたイベントが[イベント セットアップ]ページのリスト ビューに表示されていることを確認します。
イベントを有効にする	a. 有効にするイベントのチェック ボックスをオンにします。 b. * Enable * をクリックします。

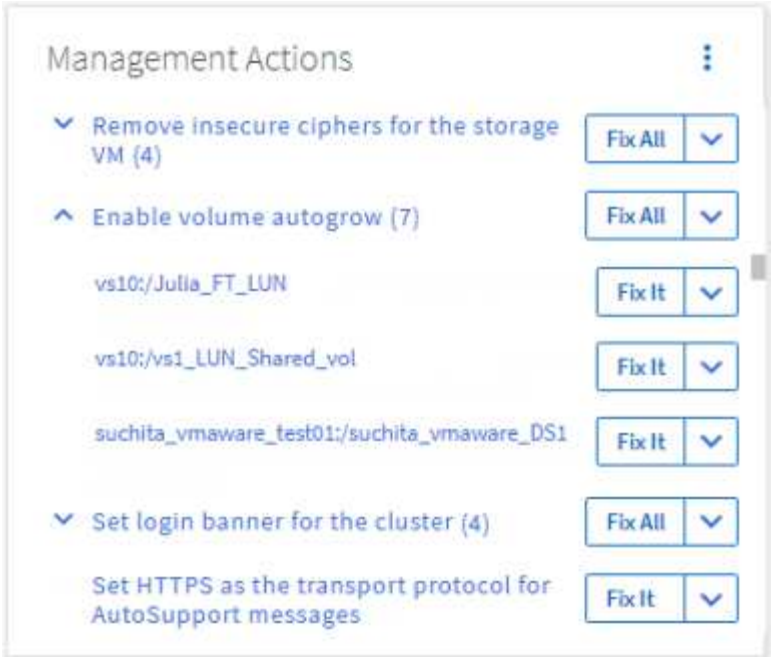
Active IQ Unified Manager の自動修復を使用して問題を修正する

Unified Managerは、特定のイベントを徹底的に診断し、*Fix It*ボタンを使用して単一の解決策を提供することができます。利用可能な場合、これらの解決策はダッシュボード、イベント詳細ページ、および左側のナビゲーションメニューのワークロード分析選択画面に表示されます。

ほとんどのイベントにはさまざまな解決策があり、イベントの詳細ページに表示されるため、ONTAP System ManagerまたはONTAP CLIを使用して最適な解決策を実行できます。Unified Managerが、問題を解決するための解決策が1つだけであり、ONTAP CLIコマンドを使用して解決できると判断した場合、*Fix It*アクションが利用可能になります。

手順

1. **Dashboard** から修正可能なイベントを表示するには、**Dashboard** をクリックします。



2. Unified Managerで解決できる問題に対処するには、*Fix It*ボタンをクリックします。複数のオブジェクトに存在する問題を修正するには、*Fix All*ボタンをクリックします。

自動修復で解決できる問題については、"Unified Managerで解決可能な問題"を参照してください。

Active IQ Unified Manager で Active IQ イベントレポートを有効化および無効化する

Active IQプラットフォーム イベントは、デフォルトで生成されてUnified Managerユーザ インターフェイスに表示されます。作業の邪魔な場合、またはUnified Managerに表示したくない場合は、これらのイベントが生成されないようにすることができます。後日これらの通知の受信を再開する場合は再び有効にできます。

開始する前に

アプリケーション管理者のロールが必要です。

この機能を無効にすると、Unified ManagerはActive IQプラットフォーム イベントの受信をただちに停止します。

この機能を有効にすると、クラスタのタイムゾーンの午前0時を過ぎにUnified ManagerはActive IQプラットフォーム イベントの受信を開始します。開始時刻は、Unified Managerがいつ各クラスタからAutoSupportメッセージを受信したかによって決まります。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**General** > **Feature Settings** をクリックします。
2. *機能設定*ページで、次のいずれかのオプションを選択して Active IQ プラットフォームイベントを無効または有効にします：

状況	操作
Active IQプラットフォーム イベントを無効にする	**Active IQ Portal Events** パネルで、スライダーボタンを左に移動します。
Active IQプラットフォーム イベントを有効にする	**Active IQ Portal Events** パネルで、スライダーボタンを右に移動します。

Active IQ Unified Manager で新しい Active IQ ルールファイルをアップロードする

Unified Managerは、新しいActive IQイベント（ルール）ファイルの有無を自動的にチェックし、ある場合は新しいファイルをダウンロードします。ただし、外部ネットワークへのアクセスがないサイトでは、ルール ファイルを手動でアップロードする必要があります。

Active IQルールは、Config Advisor（CA）セキュア ルールとも呼ばれます。

ネットワークに接続されていないサイトでUnified Managerをインストールまたはアップグレードするときは、バンドルされているActive IQルールを自動でアップロードに使用できます。ただし、NetAppのサポートサイトから月に一度は新しいルール ファイルをダウンロードして、更新されたイベントが生成され、ストレージ システムのパフォーマンスが最適な状態に保たれるようにすることを推奨します。

開始する前に

- Active IQポータル イベントのレポートを有効にしておく必要があります。この機能はデフォルトで有効になっています。詳細については、"Active IQポータル イベントの有効化"を参照してください。
- ルール ファイルをNetAppサポート サイトからダウンロードしておく必要があります。

  ルールファイルは以下の場所にあります： https://mysupport.netapp.com/api/content-service/staticcontents/content/public/tools/unifiedmanager/ca/secure_rules.zip

手順

1. ネットワーク アクセスが可能なコンピューターで、NetApp Support Site にアクセスし、最新のルール `.zip`ファイルをダウンロードしてください。

   バンドルされたルール パッケージには、ルール リポジトリ、データ ソース、およびNetAppのナレッジベース記事が含まれています。

   Windowsシステムでは、ネットワーク接続のないサイトの場合、デフォルトでNetApp KB記事はインストーラに同梱されていません。サポートサイトから_secure_rules.zip_ファイルをダウンロードしてアップロードすると、すべてのルールのKB記事を表示できます。

2. ルール ファイルをセキュリティ エリアに持ち込めるメディアに転送し、セキュリティ エリア内のシステムにコピーします。
3. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 ＞ イベント設定 をクリックします。
4. 「イベント設定」ページで、「ルールをアップロード」ボタンをクリックします。
5. 「Upload Rules」ダイアログボックスで、ダウンロードしたルール `.zip`ファイルに移動して選択

し、「Upload」をクリックします。

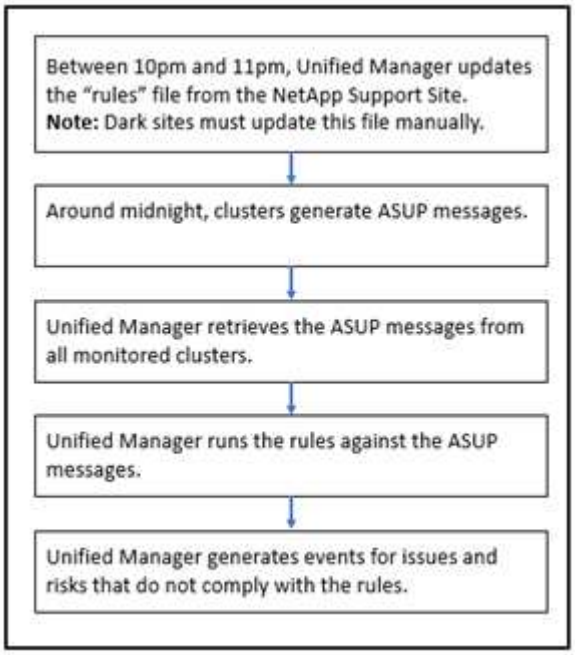
このプロセスには数分かかることがあります。

ルール ファイルがUnified Managerサーバに解凍されます。午前0時過ぎに管理対象クラスタでAutoSupportファイルが生成されたあと、Unified Managerがルール ファイルに照らしてクラスタをチェックし、必要に応じて新しいリスク イベントおよびインシデント イベントを生成します。

詳細については、こちらのナレッジベース（KB）記事をご覧ください： "Active IQ Unified Manager でAIQCASecureルールを手動で更新する方法"。

Active IQ Unified Manager が Active IQ プラットフォームイベントを生成する仕組み

Active IQプラットフォームのインシデントとリスクは、次の流れでUnified Managerのイベントに変換されます。



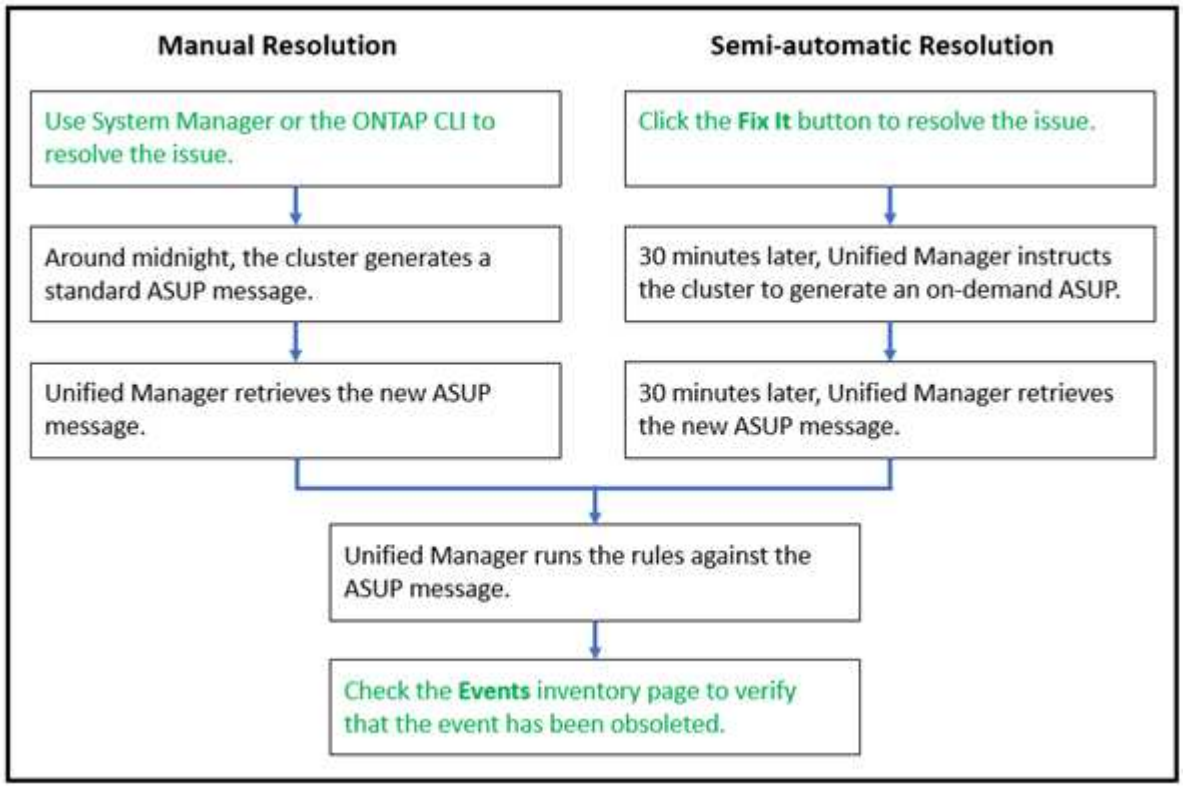
このフロー図からわかるように、Active IQプラットフォームで作成されたルール ファイルが最新の状態に維持され、クラスタのAutoSupportメッセージが毎日生成され、Unified Managerがイベントのリストを毎日更新します。

Active IQ Unified Manager で Active IQ プラットフォームイベントを解決する

Active IQプラットフォームのインシデントとリスクは、他のUnified Managerイベントと同様に他のユーザにその解決を割り当てることができ、ステータスの種類も同じです。ただし、「Fix It」ボタンを使用してこれらの種類のイベントを解決すると、数時間以内に解決状況を確認できます。

次の図は、Active IQプラットフォームから生成されたイベントの解決時にユーザが実行する操作（緑）

とUnified Managerで実行される操作（黒）を示しています。



手動で解決する場合は、System ManagerまたはONTAPコマンドライン インターフェイスにログインして問題を解決する必要があります。この場合、問題の解決を確認できるのは、午前0時にクラスタで新しいAutoSupportメッセージが生成されたあとです。

「Fix It」ボタンを使用して半自動的な解決を実行すると、数時間以内に修正が成功したことを確認できます。

Active IQ Unified Manager でイベント保持設定を構成する

イベントが自動的に削除されるまでにUnified Managerサーバでイベントを保持する月数を指定できます。

開始する前に

アプリケーション管理者のロールが必要です。

サーバのパフォーマンスに影響を及ぼす可能性があるため、イベントの保持期間を6カ月以上に設定することは推奨されません。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**[全般]** > **[データ保持]** をクリックします。
2. 「データ保持」ページで、「イベント保持」エリアのスライダーを選択し、イベントを保持する月数まで移動させて、「保存」をクリックします。

Unified Manager のメンテナンスウィンドウとは

Active IQ Unified Manager のメンテナンス ウィンドウについて

Unified Managerのメンテナンスウィンドウを定義することで、クラスタのメンテナンスをスケジュールしている場合など、不要な通知が大量に届くのを防ぎたい特定の期間、イベントやアラートを抑制することができます。

メンテナンス時間が始まると、「オブジェクトのメンテナンス時間を開始」イベントが[イベント管理]インベントリ ページに記録されます。このイベントは、メンテナンス時間が終了すると自動的に廃止されます。

メンテナンス時間中も、そのクラスタのすべてのオブジェクトに関連するイベントは引き続き生成されますが、いずれのUIページにも表示されず、アラートやその他の通知も送信されません。ただし、[イベント管理]インベントリ ページでいずれかの[表示]オプションを選択すれば、すべてのストレージ オブジェクトについてメンテナンス時間中に生成されたイベントを確認することができます。

メンテナンス時間をスケジュールしたり、スケジュールされたメンテナンス時間の開始時刻や終了時刻を変更したり、スケジュールされたメンテナンス時間をキャンセルしたりできます。

Active IQ Unified Manager でクラスターイベント通知を無効にするメンテナンスウィンドウをスケジュールする

クラスタをアップグレードしたり、いずれかのノードを移動したりする場合など、クラスタを計画的に停止するときは、Unified Managerのメンテナンス時間をスケジュールすることで、その間は通常生成されるイベントやアラートを抑制することができます。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

メンテナンス時間中も、そのクラスタのすべてのオブジェクトに関連するイベントは引き続き生成されますが、イベント ページには表示されず、アラートやその他の通知も送信されません。

メンテナンス時間に入力する時刻はUnified Managerサーバの時刻に基づいています。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 > *クラスタ設定*をクリックします。
2. クラスターの **Maintenance Mode** 列で、スライダーボタンを選択し、右に移動します。

   カレンダーのウィンドウが表示されます。

3. メンテナンス期間の開始日時と終了日時を選択し、*適用*をクリックしてください。

   スライダ ボタンの横に「スケジュール設定済み」というメッセージが表示されます。

開始時間になると、クラスタがメンテナンス モードになり、「オブジェクトのメンテナンス時間を開始」イベントが生成されます。

Active IQ Unified Manager で予定されているメンテナンスウィンドウを変更またはキャンセルする

まだ開始されていない設定済みのUnified Managerのメンテナンス時間について、開始時刻や終了時刻を変更したり、メンテナンス時間をキャンセルしたりできます。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

メンテナンス時間中に、すでにクラスタのメンテナンスが完了したため、スケジュールされたメンテナンス時間の終了時刻を待たずにクラスタからのイベントやアラートの通知を再開したい場合は、現在のメンテナンス時間をキャンセルすると便利です。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 > *クラスタ設定*をクリックします。
2. クラスターの **Maintenance Mode** 列：

状況	この手順を実行してください...
スケジュールされたメンテナンス時間の期間を変更する	a. スライダ ボタンの横にある「スケジュール設定済み」というテキストをクリックします。 b. 開始日時および／または終了日時を変更し、**Apply** をクリックしてください。
現在のアクティブなメンテナンス時間を延長する	a. スライダ ボタンの横にある「アクティブ」というテキストをクリックします。 b. 終了日時を変更して、*適用*をクリックしてください。
スケジュールされたメンテナンス時間をキャンセルする	スライダ ボタンを選択して左に動かします。
アクティブなメンテナンス時間をキャンセルする	スライダ ボタンを選択して左に動かします。

Active IQ Unified Manager でメンテナンス期間中に生成されたイベントを表示する

必要に応じて、すべてのストレージ オブジェクトについてUnified Managerのメンテナンス時間中に生成されたイベントを確認することができます。ほとんどのイベントは、メンテナンス時間が終了し、すべてのシステム リソースが再び稼働すると、「廃止」の状態になります。

開始する前に

少なくとも1回はメンテナンス時間が完了している必要があります。

メンテナンス時間中に発生したイベントは、デフォルトでは[イベント管理]インベントリ ページに表示されません。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、*イベント*をクリックします。

[イベント管理]インベントリ ページには、デフォルトではすべてのアクティブなイベント（新規と確認済みのイベント）が表示されます。

2. 「表示」ペインから、*メンテナンス中に生成されたすべてのイベント*オプションを選択します。

   メンテナンス時間のすべてのセッションとすべてのクラスタを対象に、過去7日間にトリガーされたイベントのリストが表示されます。

3. 単一のクラスターに対して複数のメンテナンス期間が設定されている場合は、**Triggered Time** カレンダーアイコンをクリックして、表示したいメンテナンス期間のイベントの期間を選択できます。

Active IQ Unified Manager でホストシステムリソースイベントを管理する

Unified Managerには、Unified Managerがインストールされているホストシステム上のリソースの問題を監視するサービスが含まれています。ホストシステムのディスク容量不足やメモリ不足などの問題が発生すると、管理ステーションイベントが発生し、UIの上部にバナーメッセージとして表示されることがあります。

管理ステーションのイベントは、Unified Manager がインストールされているホストシステムに問題があることを示します。管理ステーションの問題の例としては、ホストシステムのディスク容量不足、Unified Manager による定期的なデータ収集サイクルの欠落、次回のデータ収集ポーリングが開始されたために統計分析が完了しない、または完了が遅れるなどが挙げられます。

他のすべてのUnified Managerイベントメッセージとは異なり、これらの特定の管理ステーションの警告および重大イベントはバナーメッセージで表示されます。

手順

1. 管理ステーション イベントの情報を表示するには、次の操作を実行します。

状況	操作
イベントの詳細を表示する	イベント バナーをクリックして、問題の解決策を提案する[イベントの詳細]ページを表示します。
すべての管理ステーション イベントを表示する	a. 左側のナビゲーションペインで、*イベント管理*をクリックします。 b. [イベント管理]インベントリ ページの[フィルタ]ペインで、[ソース タイプ]リストにある[管理ステーション]のボックスをクリックします。

イベントの詳細を理解する

Active IQ Unified Manager のイベントの状態

イベントの状態を確認すると、対処が必要かどうかを特定するのに役立ちます。イベントの状態は、「新規」、「確認済み」、「解決済み」、「廃止」のいずれかになります。「新規」と「確認済み」のイベントの両方がアクティブなイベントとみなされます。

イベントの状態は次のとおりです。

- 新しい

  新しいイベントの状態

- 承認済み

  イベントを確認したときの状態

- 解決済み

  イベントが解決済みとマークされたときの状態

- 廃止

  イベントが自動的に修正されたか、イベントの原因が有効でなくなったときの状態

  廃止状態のイベントを確認または解決することはできません。

イベントのさまざまな状態の例

次の例は、手動および自動でイベントの状態が変化する様子を示しています。

「クラスタに到達できません」イベントがトリガーされると、その時点でイベントの状態は「新規」になります。そのイベントを確認すると、イベントの状態は「確認済み」に変わります。イベントに適切に対処したら、イベントを解決済みとしてマークする必要があります。これにより、イベントの状態は「解決済み」に変わります。

「クラスタに到達できません」イベントが生成された原因が停電であった場合は、電源が復旧すると、管理者の介入なしでクラスタが再開されます。そのため、「クラスタに到達できません」イベントは有効でなくなり、イベントの状態が次回の監視サイクルで「廃止」に変わります。

Unified Managerでは、イベントが「廃止」または「解決済み」の状態になるとアラートを送信します。このアラートのEメールの件名と内容に、イベントの状態に関する情報が記載されます。また、SNMPトラップにもイベントの状態に関する情報が含まれます。

Active IQ Unified Manager のイベント重大度タイプについて

イベントには、対処する際の優先度を判別できるように、それぞれ重大度タイプが関連付けられています。

- クリティカル

  問題が発生しており、すぐに対処しないとサービスが停止する可能性があります。

  パフォーマンスに関する重大イベントは、ユーザ定義のしきい値からのみ生成されます。

- エラー

  イベント ソースは実行中ですが、サービスの停止を回避するために対処が必要です。

- 警告

  イベント ソースに注意が必要なアラートが発生したか、クラスタ オブジェクトのパフォーマンス カウンタが正常な範囲から外れており、重大な問題にならないように監視が必要です。この重大度のイベントではサービスは停止しません。早急な対処も不要です。

  パフォーマンスに関する警告イベントは、システムまたはユーザ定義のしきい値、あるいは動的なしきい値から生成されます。

- 情報

  新しいオブジェクトが検出されたときやユーザ操作が実行されたときに発生します。たとえば、ストレージ オブジェクトが削除されたときや設定に変更があったときは、情報タイプの重大度のイベントが生成されます。

  情報イベントは、ONTAPで設定の変更が検出されたときに直接生成されます。

Active IQ Unified Manager のイベントの影響レベルについて

イベントには、対処する際の優先度を判別できるように、それぞれに影響レベル（インシデント、リスク、イベント、またはアップグレード）が関連付けられています。

- インシデント

  インシデントは、クラスタによるクライアントへのデータの提供の停止やデータを格納するスペースの不足を引きおこす一連のイベントです。影響レベルが「インシデント」のイベントは、最も重大度が高く、サービスの停止を回避するためにすぐに対処する必要があります。

- リスク

  リスクは、クラスタによるクライアントへのデータの提供の停止やデータを格納するスペースの不足を引き起こす可能性がある一連のイベントです。影響レベルが「リスク」のイベントは、サービスの停止につながる可能性があり、対処が必要な場合があります。

- イベント

  イベントは、ストレージ オブジェクトとその属性の状態やステータスの変化を示します。影響レベルが「イベント」のイベントは、情報提供を目的としたものであり、特別な対処は必要ありません。

- アップグレード

  アップグレードイベントは、Active IQ プラットフォームから報告される特定の種類のイベントです。これらのイベントは、ONTAP ソフトウェア、ノードファームウェア、またはオペレーティングシステムソフトウェア（セキュリティ勧告の場合）のアップグレードが解決策として必要な問題を特定します。これらの問題の中には、直ちに是正措置を講じる必要があるものもあれば、次回の定期メンテナンスまで待てるものもあります。

Active IQ Unified Manager のイベントの影響範囲について

イベントは、管理者が担当するタイプのイベントに専念できるように、6つの影響領域（可用性、容量、構成、パフォーマンス、保護、セキュリティ）に分類されています。

- 可用性

  可用性イベントは、ストレージ オブジェクトがオフラインになった場合、プロトコル サービスが停止した場合、ストレージ フェイルオーバーで問題が発生した場合、ハードウェアで問題が発生した場合に通知するイベントです。

- 容量

  容量イベントは、アグリゲート、ボリューム、LUN、またはネームスペースのサイズがしきい値に近づいているか達した場合、または環境の通常の増加率とかけ離れている場合に通知するイベントです。

- 構成

  構成イベントは、ストレージ オブジェクトの検出、削除、追加、または名前変更について通知するイベントです。構成イベントの影響レベルは「イベント」、重大度タイプは「情報」です。

- パフォーマンス

  パフォーマンス イベントは、監視対象のストレージ オブジェクトにおけるデータ ストレージの入力速度や取得速度に悪影響を及ぼす可能性がある、クラスタのリソース、設定、または処理の状況について通知するイベントです。

- 保護

  保護イベントは、SnapMirror関係に関するインシデントやリスク、デスティネーションの容量の問題、SnapVault関係の問題、または保護ジョブの問題について通知するイベントです。セカンダリ ボリュームおよび保護関係をホストするONTAPのオブジェクト（アグリゲート、ボリューム、およびSVM）は、いずれもこの影響領域に分類されます。

- セキュリティ

  セキュリティイベントは、 "NetApp ONTAP 9 セキュリティ強化ガイド"で定義されたパラメータに基づいて、ONTAPクラスター、ストレージ仮想マシン（SVM）、およびボリュームのセキュリティ状態を通知します。

  さらに、この領域には、Active IQプラットフォームから報告されるアップグレード イベントも含まれます。

Active IQ Unified Manager がオブジェクトのステータスを計算する方法

オブジェクト ステータスは、現在の状態が「新規」または「確認済み」である最も重大度の高いイベントによって決まります。たとえば、オブジェクト ステータスが「エラー」の場合は、オブジェクトのいずれかのイベントの重大度タイプが「エラー」となっています。イベントに対処すると、イベントの状態は「解決済み」になります。

Active IQ Unified Manager の動的パフォーマンスイベントについて

動的なパフォーマンス イベントに関する情報として、[イベントの詳細]ページの[システム診断]セクションに、レイテンシが高いワークロード、または競合状態のクラスタ コンポーネントの使用量が多いワークロードが表示されます。

パフォーマンス統計は、パフォーマンス イベントが検出されてからイベントが最後に分析されるまでの時間に基づいています。このグラフには、競合状態のクラスタ コンポーネントの過去のパフォーマンス統計も表示されます。

たとえば、コンポーネントの利用率が高いワークロードを確認して、利用率が低いコンポーネントに移動するワークロードを特定できます。ワークロードを移動することで、現在のコンポーネントにかかる作業量が減り、場合によってはそのコンポーネントが競合状態から外れる可能性があります。このセクションの上部には、イベントが検出され、最後に分析された時刻と日付の範囲が表示されます。アクティブなイベント（新規または確認済みのイベント）の場合は、最後に分析された時刻が更新されます。

レイテンシとアクティビティのグラフにカーソルを合わせると、上位のワークロードの名前が表示されます。グラフの右側にある「ワークロードタイプ」メニューをクリックすると、ワークロードをイベントにおける役割（*sharks*、*bullies*、_victims_など）に基づいて並べ替えることができ、競合しているクラスタコンポーネント上でのレイテンシと使用状況の詳細が表示されます。実際の値と期待値を比較することで、ワークロードのレイテンシや使用量が想定範囲外になった時期を確認できます。詳細については、"Unified Managerで監視されるワークロードのタイプ"を参照してください。

> レイテンシのピーク偏差でソートする場合は、システム定義のワークロードがテーブルに表示されません。これは、レイテンシがユーザ定義のワークロードにのみ適用されるためです。レイテンシの値が小さいワークロードはこのテーブルに表示されません。

動的パフォーマンスしきい値の詳細については、"動的なパフォーマンスしきい値で生成されたイベントの分析"を参照してください。

Unified Manager がワークロードをどのようにランク付けし、ソート順を決定するかについては、"Unified Managerがイベントによるパフォーマンスへの影響を判定する仕組み"を参照してください。

グラフ内のデータには、イベントが最後に分析されるまでの24時間のパフォーマンス統計が示されます。各ワークロードの実際の値と想定値は、ワークロードがイベントに関連した時間に基づいています。たとえば、イベントの検出後にワークロードがそのイベントに関連した可能性があるため、パフォーマンス統計がイベント検出時の値に一致しないことがあります。デフォルトでは、レイテンシのピーク（最大）偏差でワークロードがソートされます。

> Unified Managerは、5分間隔の履歴パフォーマンスデータとイベントデータを最大30日間保持するため、イベントが30日以上前のものである場合、パフォーマンスデータは表示されません。

- ワークロードソート列
  - レイテンシーチャート

    前回の分析中の、ワークロードのレイテンシに対するイベントの影響が表示されます。
  - コンポーネント使用状況列

    競合状態のクラスタ コンポーネントのワークロードの使用量に関する詳細が表示されます。グラフでは、実際の使用量は青い線で表示されます。赤のバーは、イベント期間（検出時間から最後の分析時間まで）を示します。詳細については、"ワークロード パフォーマンスの測定値"を参照してください。

    > ネットワーク コンポーネントの場合は、クラスタ以外のアクティビティに基づいてネットワーク パフォーマンス統計が作成されるため、この列は表示されません。

◦ コンポーネントの使用法

ネットワーク処理、データ処理、およびアグリゲート コンポーネントの利用率（割合）の履歴またはQoSポリシー グループ コンポーネントのアクティビティ（割合）の履歴が表示されます。ネットワーク コンポーネントまたはインターコネクト コンポーネントについてはこのグラフは表示されません。統計にカーソルを合わせると、特定の時点における使用状況を表示できます。

◦ 書き込み合計**MB/s**履歴

MetroClusterのリソース コンポーネントの場合にのみ、MetroCluster構成のパートナー クラスタにミラーリングされるすべてのボリューム ワークロードについて、書き込みスループットの合計が1秒あたりのメガバイト数（MBps）で表示されます。

◦ イベント履歴

競合状態のコンポーネントの過去のイベントを示す赤い影付きの線が表示されます。廃止状態のイベントの場合は、選択したイベントが検出される前に発生したイベントおよびそのイベントが解決されたあとに発生したイベントがチャートに表示されます。

Active IQ Unified Manager によって検出された構成変更

Unified Managerは、クラスターの構成変更を監視し、変更がパフォーマンスイベントの原因となった、またはパフォーマンスイベントに影響を与えたかどうかを判断するのに役立ちます。Performance Explorerページには、変更が検出された日時を示す変更イベントアイコン（）が表示されます。

[パフォーマンス エクスプローラ]ページと[ワークロード分析]ページのパフォーマンス グラフで、変更イベントが選択したクラスタ オブジェクトのパフォーマンスに影響していないかどうかを確認できます。パフォーマンス イベントと同時かその前後に変更が検出されていれば、その変更が原因でイベントのアラートがトリガーされた可能性があります。

Unified Managerは、情報イベントとして分類される以下の変更イベントを検出できます。

- ボリュームがアグリゲート間で移動されたとき。

  Unified Managerは、移動が進行中、完了、または失敗したことを検知できます。ボリュームの移動中にUnified Managerがダウンした場合、Unified Managerが復旧すると、ボリュームの移動を検出し、その変更イベントを表示します。

- 1つ以上の監視対象ワークロードを含むQoSポリシー グループのスループット（MBpsまたはIOPS）の制限が変更されたとき。

  ポリシー グループ制限を変更するとレイテンシ（応答時間）が一時的に長くなることがあり、ポリシー グループのイベントがトリガーされる可能性もあります。レイテンシは徐々に正常に戻り、発生したイベントは廃止状態になります。

- HAペア内のノードは、パートナーノードのストレージをテイクオーバーしたり、パートナーノードに返還したりします。

  Unified Manager は、テイクオーバー、部分テイクオーバー、またはギブバック操作が完了したことを検出できます。テイクオーバーがパニック状態のノードによって引き起こされた場合、Unified Manager はそのイベントを検出しません。

- ONTAPのアップグレードやリバートの処理が正常に完了したとき。

  以前のバージョンと新しいバージョンが表示されます。

イベントおよび重大度タイプのリスト

Active IQ Unified Manager のアグリゲートイベントの詳細

アグリゲート イベントは、アグリゲートのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

アスタリスク（*）は、EMSイベントがUnified Managerイベントに変換されたことを示します。

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
アグリゲートはオフライン（ocumEvtAggregateStateOffline）	インシデント	Aggregate	重大
アグリゲートで障害（ocumEvtAggregateStateFailed）	インシデント	Aggregate	重大
アグリゲートは制限状態（ocumEvtAggregateStateRestricted）	リスク	Aggregate	警告
アグリゲートは再構築中（ocumEvtAggregateRaidStateReconstructing）	リスク	Aggregate	警告
アグリゲートはデグレード状態（ocumEvtAggregateRaidStateDegraded）	リスク	Aggregate	警告
クラウド階層に一部到達可能（ocumEventCloudTierPartiallyReachable）	リスク	Aggregate	警告
クラウド階層に到達不能（ocumEventCloudTierUnreachable）	リスク	Aggregate	エラー
集約の再配置のため、クラウド層へのアクセスが拒否されました *（arlNetraCaCheckFailed）	リスク	Aggregate	エラー

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ストレージフェイルオーバー中のアグリゲート再配置に対するクラウドティアアクセスが拒否されました *（gbNetraCaCheckFailed）	リスク	Aggregate	エラー
MetroCluster で残ったアグリゲートあり（ocumEvtMetroClusterAggregateLeftBehind）	リスク	Aggregate	エラー
MetroCluster アグリゲートのミラーリングがデグレード状態（ocumEvtMetroClusterAggregateMirrorDegraded）	リスク	Aggregate	エラー

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
アグリゲート スペースがほぼフル（ocumEvtAggregateNearlyFull）	リスク	Aggregate	警告
アグリゲート スペースがフル（ocumEvtAggregateFull）	リスク	Aggregate	エラー
アグリゲートのフルまでの日数（ocumEvtAggregateDaysUntilFullSoon）	リスク	Aggregate	エラー
アグリゲートがオーバーコミット（ocumEvtAggregateOvercommitted）	リスク	Aggregate	エラー
アグリゲートがほぼオーバーコミット（ocumEvtAggregateAlmostOvercommitted）	リスク	Aggregate	警告
アグリゲートの Snapshot リザーブがフル（ocumEvtAggregateSnapReserveFull）	リスク	Aggregate	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
アグリゲートの増加率 - 異常（ocumEvtAggregateGrowthRateAbnormal）	リスク	Aggregate	警告

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
アグリゲートを検出（該当なし）	イベント	Aggregate	情報
アグリゲートの名前を変更（該当なし）	イベント	Aggregate	情報
アグリゲートを削除（該当なし）	イベント	ノード	情報

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
アグリゲート IOPS の重大しきい値を超過（ocumAggregateIopsIncident）	インシデント	Aggregate	重大
アグリゲート IOPS の警告しきい値を超過（ocumAggregateIopsWarning）	リスク	Aggregate	警告
アグリゲート MBps の重大しきい値を超過（ocumAggregateMbpsIncident）	インシデント	Aggregate	重大
アグリゲート MBps の警告しきい値を超過（ocumAggregateMbpsWarning）	リスク	Aggregate	警告
アグリゲート レイテンシの重大しきい値を超過（ocumAggregateLatencyIncident）	インシデント	Aggregate	重大
アグリゲート レイテンシの警告しきい値を超過（ocumAggregateLatencyWarning）	リスク	Aggregate	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
アグリゲート使用済みパフォーマンス容量の重大しきい値を超過（ocumAggregatePerfCapacityUsedIncident）	インシデント	Aggregate	重大
アグリゲート使用済みパフォーマンス容量の警告しきい値を超過（ocumAggregatePerfCapacityUsedWarning）	リスク	Aggregate	警告
アグリゲート利用率の重大しきい値を超過（ocumAggregateUtilizationIncident）	インシデント	Aggregate	重大
アグリゲート利用率の警告しきい値を超過（ocumAggregateUtilizationWarning）	リスク	Aggregate	警告
利用率の高いアグリゲート ディスクのしきい値を超過（ocumAggregateDisksOverUtilizedWarning）	リスク	Aggregate	警告
アグリゲート動的イベントのしきい値を超過（ocumAggregateDynamicEventWarning）	リスク	Aggregate	警告

Active IQ Unified Manager のクラスターイベントについて学ぶ

クラスタ イベントは、クラスタのステータスに関する情報を提供します。これにより、クラスタの潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

アスタリスク（*）は、EMSイベントがUnified Managerイベントに変換されたことを示します。

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
クラスタにスペア ディスクなし（ocumEvtDisksNoSpares）	リスク	クラスタ	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
クラスタに到達できません（ocumEvtClusterUnreachable）	リスク	クラスタ	エラー
クラスタ監視失敗（ocumEvtClusterMonitoringFailed）	リスク	クラスタ	警告
クラスタの FabricPool ライセンス容量制限を超過（ocumEvtExternalCapacityTierSpaceFull）	リスク	クラスタ	警告
NVMe-oF 猶予期間が開始されました *（nvmfGracePeriodStart）	リスク	クラスタ	警告
NVMe-oF 猶予期間有効 *(nvmfGracePeriodActive)	リスク	クラスタ	警告
NVMe-oF 猶予期間が終了しました *（nvmfGracePeriodExpired）	リスク	クラスタ	警告
オブジェクトのメンテナンス時間を開始（objectMaintenanceWindowStarted）	イベント	クラスタ	重大
オブジェクトのメンテナンス時間を終了（objectMaintenanceWindowEnded）	イベント	クラスタ	情報
MetroCluster で残ったスペア ディスクあり（ocumEvtSpareDiskLeftBehind）	リスク	クラスタ	エラー
MetroCluster の自動計画外スイッチオーバーが無効（ocumEvtMccAutomaticUnplannedSwitchOverDisabled）	リスク	クラスタ	警告
クラスタユーザのパスワードが変更されました *(cluster.passwd.changed)	イベント	クラスタ	情報

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
クラスタ容量の不均衡しきい値を超過（ocumConformanceNodeImbalanceWarning）	リスク	クラスタ	警告
クラスタのクラウド階層の計画（clusterCloudTierPlanningWarning）	リスク	クラスタ	警告
FabricPoolミラーレプリケーションの再同期が完了しました *（waflCaResyncComplete）	イベント	クラスタ	警告
FabricPoolスペースはほぼ満杯です *（fabricpoolNearlyFull）	リスク	クラスタ	エラー

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ノードの追加（該当なし）	イベント	クラスタ	情報
ノードを削除（該当なし）	イベント	クラスタ	情報
クラスタを削除（該当なし）	イベント	クラスタ	情報
クラスタ追加失敗（該当なし）	イベント	クラスタ	エラー
クラスタの名前を変更（該当なし）	イベント	クラスタ	情報
緊急の EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	重大
重大な EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	重大
アラートの EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	エラー
エラーの EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	警告
警告の EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
デバッグの EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	警告
通知の EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	警告
情報の EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	警告

ONTAP EMS イベントは、Unified Manager イベントの重大度レベルに応じて3つのカテゴリに分類されます。

Unified Managerイベントの重大度レベル	ONTAP EMSイベントの重大度レベル
重大	緊急 重大
エラー	アラート
警告	エラー 警告 デバッグ 通知 情報

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
クラスタ負荷の不均衡しきい値を超過	リスク	クラスタ	警告
クラスタ IOPS の重大しきい値を超過（ocumClusterIopsIncident）	インシデント	クラスタ	重大
クラスタ IOPS の警告しきい値を超過（ocumClusterIopsWarning）	リスク	クラスタ	警告
クラスタ MBps の重大しきい値を超過（ocumClusterMbpsIncident）	インシデント	クラスタ	重大

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
クラスタ MBps の警告しきい値を超過（ocumClusterMbpsWarning）	リスク	クラスタ	警告
クラスタ動的イベントの警告しきい値を超過（ocumClusterDynamicEventWarning）	リスク	クラスタ	警告

影響領域：セキュリティ

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
AutoSupport HTTPS 転送が無効（ocumClusterASUPHttpsConfiguredDisabled）	リスク	クラスタ	警告
ログ転送が暗号化されていない（ocumClusterAuditLogUnencrypted）	リスク	クラスタ	警告
デフォルトのローカル管理ユーザが有効（ocumClusterDefaultAdminEnabled）	リスク	クラスタ	警告
FIPS モードが無効（ocumClusterFipsDisabled）	リスク	クラスタ	警告
ログイン バナーが無効（ocumClusterLoginBannerDisabled）	リスク	クラスタ	警告
ログイン バナーを変更（ocumClusterLoginBannerChanged）	リスク	クラスタ	警告
ログ転送先を変更（ocumLogForwardDestinationsChanged）	リスク	クラスタ	警告
NTP サーバ名を変更（ocumNtpServerNamesChanged）	リスク	クラスタ	警告
NTP サーバ数が不足（securityConfigNTPServerCountLowRisk）	リスク	クラスタ	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
クラスタ ピア通信が暗号化されていない（ocumClusterPeerEncryptionDisabled）	リスク	クラスタ	警告
SSH でセキュアでない暗号を使用（ocumClusterSSHInsecure）	リスク	クラスタ	警告
Telnet プロトコルが有効（ocumClusterTelnetEnabled）	リスク	クラスタ	警告
一部の ONTAP ユーザ アカウントで安全性が低い MD5 ハッシュ関数を使用（ocumClusterMD5PasswordHashUsed）	リスク	クラスタ	警告
クラスタで自己署名証明書を使用（ocumClusterSelfSignedCertificate）	リスク	クラスタ	警告
クラスタ リモート シェルが有効（ocumClusterRshDisabled）	リスク	クラスタ	警告
クラスタ証明書の有効期間がまもなく終了（ocumEvtClusterCertificateAboutToExpire）	リスク	クラスタ	警告
クラスタ証明書の有効期間が終了（ocumEvtClusterCertificateExpired）	リスク	クラスタ	エラー

Active IQ Unified Manager のディスクイベントについて

ディスクのイベントは、ディスクのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
フラッシュ ディスク - スペア ブロックをほぼ使用（ocumEvtClusterFlashDiskFewerSpareBlockError）	リスク	クラスタ	エラー
フラッシュ ディスク - スペア ブロックなし（ocumEvtClusterFlashDiskNoSpareBlockCritical）	インシデント	クラスタ	重大
未割り当てディスクあり（ocumEvtClusterUnassignedDisksSome）	リスク	クラスタ	警告
障害ディスクあり（ocumEvtDisksSomeFailed）	インシデント	クラスタ	重大

Active IQ Unified Manager のエンクロージャーイベントについて

エンクロージャのイベントは、データセンター内のディスク シェルフ エンクロージャのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ディスク シェルフのファンに障害（ocumEvtShelfFanFailed）	インシデント	ストレージ シェルフ	重大
ディスク シェルフの電源装置に障害（ocumEvtShelfPowerSupplyFailed）	インシデント	ストレージ シェルフ	重大

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ディスク シェルフ マルチパス未設定（ocumDiskShelfConnectivityNotInMultiPath） このイベントの適用対象外： • MetroCluster構成のクラスタ • 以下のプラットフォーム：FAS2554、FAS2552、FAS2520、およびFAS2240	リスク	ノード	警告
ディスク シェルフ パス障害（ocumDiskShelfConnectivityPathFailure）	リスク	ストレージ シェルフ	警告

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ディスク シェルフを検出（該当なし）	イベント	ノード	情報
ディスク シェルフを削除（該当なし）	イベント	ノード	情報

Active IQ Unified Manager のファンイベントについて

ファン イベントは、データセンター内のノードのファンのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
1 つ以上のファンに障害（ocumEvtFansOneOrMoreFailed）	インシデント	ノード	重大

Active IQ Unified Manager のフラッシュカードイベントについて

フラッシュ カードのイベントは、データセンター内のノードに取り付けられているフラ

ッシュ カードのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
フラッシュ カードはオフライン（ocumEvtFlashCardOffline）	インシデント	ノード	重大

Active IQ Unified Manager の inode イベントについて

inodeイベントは、inodeがフルまたはほぼフルになったことを通知します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
inode がほぼフル（ocumEvtInodesAlmostFull）	リスク	Volume	警告
inode がフル（ocumEvtInodesFull）	リスク	Volume	エラー

Active IQ Unified Manager のネットワークインターフェイスイベント

ネットワーク インターフェイス（LIF）イベントは、LIFのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ネットワーク インターフェイスのステータス - 停止（ocumEvtLifStatusDown）	リスク	インターフェイス	エラー

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
FC / FCoE ネットワーク インターフェイスのステータス - 停止（ocumEvtFCLifStatusDown）	リスク	インターフェイス	エラー
ネットワーク インターフェイスのフェイルオーバー実行不可（ocumEvtLifFailoverNotPossible）	リスク	インターフェイス	警告
ネットワーク インターフェイスがホーム ポートにない（ocumEvtLifNotAtHomePort）	リスク	インターフェイス	警告

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ネットワーク インターフェイスのルートが未設定（該当なし）	イベント	インターフェイス	情報

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ネットワーク インターフェイス MBps の重大しきい値を超過（ocumNetworkLifMbpsIncident）	インシデント	インターフェイス	重大
ネットワーク インターフェイス MBps の警告しきい値を超過（ocumNetworkLifMbpsWarning）	リスク	インターフェイス	警告
FC ネットワーク インターフェイス MBps の重大しきい値を超過（ocumFcpLifMbpsIncident）	インシデント	インターフェイス	重大

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
FC ネットワーク インターフェイス MBps の警告しきい値を超過（ocumFcpLifMbpsWarning）	リスク	インターフェイス	警告
NVMf FC ネットワーク インターフェイス MBps の重大しきい値を超過（ocumNvmfFcLifMbpsIncident）	インシデント	インターフェイス	重大
NVMf FC ネットワーク インターフェイス MBps の警告しきい値を超過（ocumNvmfFcLifMbpsWarning）	リスク	インターフェイス	警告

Active IQ Unified Manager の LUN イベントについて

LUNイベントは、LUNのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

アスタリスク（*）は、EMSイベントがUnified Managerイベントに変換されたことを示します。

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
LUN はオフライン（ocumEvtLunOffline）	インシデント	LUN	重大
LUNが破棄されました *（lunDestroy）	イベント	LUN	情報
igroup でサポートされないオペレーティング システムに LUN をマッピング（igroupUnsupportedOsType）	インシデント	LUN	警告
LUN にアクセスするためのアクティブなパスが 1 つのみ（ocumEvtLunSingleActivePath）	リスク	LUN	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
LUN にアクセスするためのアクティブなパスがない（ocumEvtLunNotReachable）	インシデント	LUN	重大
LUN にアクセスするための最適パスがない（ocumEvtLunOptimizedPathInactive）	リスク	LUN	警告
HA パートナーから LUN にアクセスするためのパスがない（ocumEvtLunHaPathInactive）	リスク	LUN	警告
HA ペアの一方のノードから LUN にアクセスするためのパスがない（ocumEvtLunNodePathStatusDown）	リスク	LUN	エラー

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
LUN Snapshot コピー用の十分なスペースなし（ocumEvtLunSnapshotNotPossible）	リスク	Volume	警告

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
igroup でサポートされないオペレーティング システムに LUN をマッピング（igroupUnsupportedOsType）	リスク	LUN	警告

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
LUN IOPS の重大しきい値を超過（ocumLunIopsIncident）	インシデント	LUN	重大

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
LUN IOPS の警告しきい値を超過（ocumLunIopsWarning）	リスク	LUN	警告
LUN MBps の重大しきい値を超過（ocumLunMbpsIncident）	インシデント	LUN	重大
LUN MBps の警告しきい値を超過（ocumLunMbpsWarning）	リスク	LUN	警告
LUN レイテンシ（ミリ秒/処理）の重大しきい値を超過（ocumLunLatencyIncident）	インシデント	LUN	重大
LUN レイテンシ（ミリ秒/処理）の警告しきい値を超過（ocumLunLatencyWarning）	リスク	LUN	警告
LUN レイテンシ / LUN IOPS の重大しきい値を超過（ocumLunLatencyIopsIncident）	インシデント	LUN	重大
LUN レイテンシ / LUN IOPS の警告しきい値を超過（ocumLunLatencyIopsWarning）	リスク	LUN	警告
LUN レイテンシ / LUN MBps の重大しきい値を超過（ocumLunLatencyMbpsIncident）	インシデント	LUN	重大
LUN レイテンシ / LUN MBps の警告しきい値を超過（ocumLunLatencyMbpsWarning）	リスク	LUN	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
LUNレイテンシ / アグリゲート使用済みパフォーマンス容量の重大しきい値を超過（ocumLunLatencyAggregatePerfCapacityUsedIncident）	インシデント	LUN	重大
LUNレイテンシ / アグリゲート使用済みパフォーマンス容量の警告しきい値を超過（ocumLunLatencyAggregatePerfCapacityUsedWarning）	リスク	LUN	警告
LUN レイテンシ / アグリゲート利用率の重大しきい値を超過（ocumLunLatencyAggregateUtilizationIncident）	インシデント	LUN	重大
LUN レイテンシ / アグリゲート利用率の警告しきい値を超過（ocumLunLatencyAggregateUtilizationWarning）	リスク	LUN	警告
LUN レイテンシ / ノード使用済みパフォーマンス容量の重大しきい値を超過（ocumLunLatencyNodePerfCapacityUsedIncident）	インシデント	LUN	重大
LUN レイテンシ / ノード使用済みパフォーマンス容量の警告しきい値を超過（ocumLunLatencyNodePerfCapacityUsedWarning）	リスク	LUN	警告
LUNレイテンシ / ノードの使用済みパフォーマンス容量 - テイクオーバーの重大しきい値を超過（ocumLunLatencyAggregatePerfCapacityUsedTakeoverIncident）	インシデント	LUN	重大

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
LUNレイテンシ / ノードの使用済みパフォーマンス容量 - テイクオーバーの警告しきい値を超過（ocumLunLatencyAggregatePerfCapacityUsedTakeoverWarning）	リスク	LUN	警告
LUN レイテンシ / ノード利用率の重大しきい値を超過（ocumLunLatencyNodeUtilizationIncident）	インシデント	LUN	重大
LUN レイテンシ / ノード利用率の警告しきい値を超過（ocumLunLatencyNodeUtilizationWarning）	リスク	LUN	警告
QoS LUN 最大 IOPS の警告しきい値を超過（ocumQosLunMaxIopsWarning）	リスク	LUN	警告
QoS LUN 最大 MBps の警告しきい値を超過（ocumQosLunMaxMbpsWarning）	リスク	LUN	警告
パフォーマンス サービス レベル ポリシーに定義されたワークロードの LUN レイテンシしきい値を超過（ocumConformanceLatencyWarning）	リスク	LUN	警告

Active IQ Unified Manager の管理ステーション イベントについて

管理ステーションのイベントは、Unified Manager がインストールされているサーバーの状態に関する情報を提供するため、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
管理サーバのディスク スペースがほぼフル（ocumEvtUnifiedManagerDiskSpaceNearlyFull）	リスク	管理ステーション	警告
管理サーバのディスク スペースがフル（ocumEvtUnifiedManagerDiskSpaceFull）	インシデント	管理ステーション	重大
管理サーバのメモリが減少（ocumEvtUnifiedManagerMemoryLow）	リスク	管理ステーション	警告
管理サーバのメモリがほとんどなし（ocumEvtUnifiedManagerMemoryAlmostOut）	インシデント	管理ステーション	重大
MySQL ログ ファイルのサイズを拡張（再起動が必要）（ocumEvtMysqlLogFileSizeWarning）	インシデント	管理ステーション	警告
監査ログの合計サイズがまもなく最大割り当てに到達	リスク	管理ステーション	警告
syslog サーバ証明書の有効期間がまもなく終了	リスク	管理ステーション	警告
syslog サーバ証明書の有効期間が終了	リスク	管理ステーション	エラー
監査ログ ファイルが改ざん	リスク	管理ステーション	警告
監査ログ ファイルが削除	リスク	管理ステーション	警告
syslog サーバ接続エラー	リスク	管理ステーション	エラー
syslog サーバ構成が変更	イベント	管理ステーション	警告

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
パフォーマンス データ分析への影響（ocumEvtUnifiedManagerDataMissingAnalyze）	リスク	管理ステーション	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
パフォーマンス データ収集への影響（ocumEvtUnifiedManagerDataMissingCollection）	インシデント	管理ステーション	重大

最後の2つのパフォーマンス イベントは、Unified Manager 7.2でのみ使用されていたものです。これらのいずれかのイベントが新規の状態で存在している場合、Unified Managerソフトウェアを新しいバージョンにアップグレードしたときにイベントは自動的にパージされません。これらのイベントについては、手動で解決済みの状態にする必要があります。

Active IQ Unified Manager の MetroCluster ブリッジイベントについて

MetroClusterブリッジ イベントは、ブリッジのステータス情報を提供します。これにより、MetroCluster over FC構成の潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ブリッジに到達不能（ocumEvtBridgeUnreachable）	インシデント	MetroCluster ブリッジ	重大
ブリッジの温度が異常（ocumEvtBridgeTemperatureAbnormal）	インシデント	MetroCluster ブリッジ	重大

Active IQ Unified Manager の MetroCluster 接続イベントについて

接続イベントは、クラスタ内のコンポーネント間の接続、およびMetroCluster over FC構成およびMetroCluster over IP構成内のクラスタ間の接続に関する情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

両方の構成に共通のイベント

次の接続イベントは、MetroCluster over FC構成とMetroCluster over IP構成に共通です。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
MetroCluster パートナー間のすべてのリンクが停止（ocumEvtMetroClusterAllLinksBetweenPartnersDown）	インシデント	MetroCluster関係	重大
MetroCluster パートナーにピアリング ネットワーク経由で到達不能（ocumEvtMetroClusterPartnersNotReachableOverPeeringNetwork）	インシデント	MetroCluster関係	重大
MetroCluster ディザスタリカバリ機能への影響（ocumEvtMetroClusterDRStatusImpacted）	リスク	MetroCluster関係	重大
MetroCluster 構成をスイッチオーバー（ocumEvtMetroClusterDRStatusImpacted）	リスク	MetroCluster関係	警告

MetroCluster over FC構成

次のイベントは、MetroCluster over FC構成に関係します。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
すべてのスイッチ間リンクが停止（ocumEvtMetroClusterAllISLBetweenSwitchesDown）	インシデント	MetroClusterスイッチ間の接続	重大
FC-SAS ブリッジからストレージ スタックへのリンクが停止（ocumEvtBridgeSasPortDown）	インシデント	MetroClusterブリッジのスタック接続	重大
MetroCluster 構成を一部スイッチオーバー（ocumEvtMetroClusterDRStatusPartiallyImpacted）	リスク	MetroCluster関係	エラー

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ノードから FC スイッチへのすべての FC-VI インターコネクト リンクが停止（ocumEvtMccNodeSwitchFcviLinksDown）	インシデント	MetroClusterノードのスイッチ接続	重大
ノードから FC スイッチへの一部の FC イニシエータ リンクが停止（ocumEvtMccNodeSwitchFcLinksOneOrMoreDown）	リスク	MetroClusterノードのスイッチ接続	警告
ノードから FC スイッチへのすべての FC イニシエータ リンクが停止（ocumEvtMccNodeSwitchFcLinksDown）	インシデント	MetroClusterノードのスイッチ接続	重大
スイッチから FC-SAS ブリッジへの FC リンクが停止（ocumEvtMccSwitchBridgeFcLinksDown）	インシデント	MetroClusterスイッチのブリッジ接続	重大
ノード間のすべての FC-VI インターコネクト リンクが停止（ocumEvtMccInterNodeLinksDown）	インシデント	ノード間の接続	重大
ノード間の一部の FC-VI インターコネクト リンクが停止（ocumEvtMccInterNodeLinksOneOrMoreDown）	リスク	ノード間の接続	警告
ノードからブリッジへのリンクが停止（ocumEvtMccNodeBridgeLinksDown）	インシデント	ノードのブリッジ接続	重大
ノードからストレージ スタックへのすべての SAS リンクが停止（ocumEvtMccNodeStackLinksDown）	インシデント	ノードのスタック接続	重大
ノードからストレージ スタックへの一部の SAS リンクが停止（ocumEvtMccNodeStackLinksOneOrMoreDown）	リスク	ノードのスタック接続	警告

MetroCluster over IP構成

次のイベントは、MetroCluster over IP構成に関係します。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
MetroCluster IP サイト間接続ステータスが停止（mccIntersiteconnectivityStatusDown）	リスク	MetroCluster関係	重大
MetroCluster IP ノードからスイッチへの接続がオフライン（mccIpPortStatusOffline）	リスク	ノード	エラー

MetroCluster スイッチイベントについて **Active IQ Unified Manager** で学ぶ

MetroCluster over FC構成についてのMetroClusterスイッチ イベントは、MetroClusterスイッチのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
スイッチの温度が異常（ocumEvtSwitchTemperatureAbnormal）	インシデント	MetroCluster スイッチ	重大
スイッチに到達不能（ocumEvtSwitchUnreachable）	インシデント	MetroCluster スイッチ	重大
スイッチのファンに障害（ocumEvtSwitchFansOneOrMoreFailed）	インシデント	MetroCluster スイッチ	重大
スイッチの電源装置に障害（ocumEvtSwitchPowerSuppliesOneOrMoreFailed）	インシデント	MetroCluster スイッチ	重大

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
スイッチの温度センサーに障害（ocumEvtSwitchTemperatureSensorFailed） このイベントはCiscoスイッチにのみ関係します。	インシデント	MetroCluster スイッチ	重大

Active IQ Unified Manager の NVMe 名前空間イベントについて

NVMeネームスペース イベントは、ネームスペースのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

アスタリスク（*）は、EMSイベントがUnified Managerイベントに変換されたことを示します。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
NVMeNS オフライン *（nvmeNamespaceStatusOffline）	イベント	ネームスペース	情報
NVMeNSオンライン*（nvmeNamespaceStatusOnline）	イベント	ネームスペース	情報
NVMeNS 容量不足 *（nvmeNamespaceSpaceOutOfSpace）	リスク	ネームスペース	警告
NVMeNS を破棄します *（nvmeNamespaceDestroy）	イベント	ネームスペース	情報

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
NVMe ネームスペース IOPS の重大しきい値を超過（ocumNvmeNamespaceIopsIncident）	インシデント	ネームスペース	重大

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
NVMe ネームスペース IOPS の警告しきい値を超過（ocumNvmeNamespaceIopsWarning）	リスク	ネームスペース	警告
NVMe ネームスペース MBps の重大しきい値を超過（ocumNvmeNamespaceMbpsIncident）	インシデント	ネームスペース	重大
NVMe ネームスペース MBps の警告しきい値を超過（ocumNvmeNamespaceMbpsWarning）	リスク	ネームスペース	警告
NVMe ネームスペース レイテンシ（ミリ秒/処理）の重大しきい値を超過（ocumNvmeNamespaceLatencyIncident）	インシデント	ネームスペース	重大
NVMe ネームスペース レイテンシ（ミリ秒/処理）の警告しきい値を超過（ocumNvmeNamespaceLatencyWarning）	リスク	ネームスペース	警告
NVMe ネームスペース レイテンシ / IOPS の重大しきい値を超過（ocumNvmeNamespaceLatencyIopsIncident）	インシデント	ネームスペース	重大
NVMe ネームスペース レイテンシ / IOPS の警告しきい値を超過（ocumNvmeNamespaceLatencyIopsWarning）	リスク	ネームスペース	警告
NVMe ネームスペース レイテンシ / MBps の重大しきい値を超過（ocumNvmeNamespaceLatencyMbpsIncident）	インシデント	ネームスペース	重大
NVMe ネームスペース レイテンシ / MBps の警告しきい値を超過（ocumNvmeNamespaceLatencyMbpsWarning）	リスク	ネームスペース	警告

Active IQ Unified Manager のノードイベントについて

ノード イベントは、ノードのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

アスタリスク（*）は、EMSイベントがUnified Managerイベントに変換されたことを示します。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ノードのルート ボリュームのスペースがほぼフル（ocumEvtClusterNodeRootVolumeSpaceNearlyFull）	リスク	ノード	警告
AWSクラウドMetaDataConnFail*（ocumCloudAwsMetadataConnFail）	リスク	ノード	エラー
クラウド AWS IAMCredsExpired *（ocumCloudAwsIamCredsExpired）	リスク	ノード	エラー
クラウド AWS IAMCredsInvalid *（ocumCloudAwsIamCredsInvalid）	リスク	ノード	エラー
クラウド AWS IAMCredsNotFound *（ocumCloudAwsIamCredsNotFound）	リスク	ノード	エラー
クラウド AWS IAMCredsNotInitialized *(ocumCloudAwsIamCredsNotInitialized)	イベント	ノード	情報
クラウド AWS IAMRoleInvalid *（ocumCloudAwsIamRoleInvalid）	リスク	ノード	エラー
クラウド AWS IAMRoleNotFound *（ocumCloudAwsIamRoleNotFound）	リスク	ノード	エラー

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
クラウドティアホストが解決できません *（ocumObjstoreHostUnresolvable）	リスク	ノード	エラー
クラウド層クラスタ間ネットワークインターフェースダウン *（ocumObjstoreInterClusterLifDown）	リスク	ノード	エラー
NFSv4プールの1つが枯渇しました *（nbladeNfsv4PoolEXhaust）	インシデント	ノード	重大
リクエストの不一致クラウドティア署名 *（oscSignatureMismatch）	リスク	ノード	エラー

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
QoSモニターメモリ最大*（ocumQosMonitorMemoryMaxed）	リスク	ノード	エラー
QoSモニターメモリが軽減されました*（ocumQosMonitorMemoryAbated）	イベント	ノード	情報

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ノードの名前を変更（該当なし）	イベント	ノード	情報

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ノード IOPS の重大しきい値を超過（ocumNodeIopsIncident）	インシデント	ノード	重大

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ノード IOPS の警告しきい値を超過（ocumNodeIopsWarning）	リスク	ノード	警告
ノード MBps の重大しきい値を超過（ocumNodeMbpsIncident）	インシデント	ノード	重大
ノード MBps の警告しきい値を超過（ocumNodeMbpsWarning）	リスク	ノード	警告
ノード レイテンシ（ミリ秒/処理）の重大しきい値を超過（ocumNodeLatencyIncident）	インシデント	ノード	重大
ノード レイテンシ（ミリ秒/処理）の警告しきい値を超過（ocumNodeLatencyWarning）	リスク	ノード	警告
ノード使用済みパフォーマンス容量の重大しきい値を超過（ocumNodePerfCapacityUsedIncident）	インシデント	ノード	重大
ノード使用済みパフォーマンス容量の警告しきい値を超過（ocumNodePerfCapacityUsedWarning）	リスク	ノード	警告
ノード使用済みパフォーマンス容量 - テイクオーバーの重大しきい値を超過（ocumNodePerfCapacityUsedTakeoverIncident）	インシデント	ノード	重大
ノード使用済みパフォーマンス容量 - テイクオーバーの警告しきい値を超過（ocumNodePerfCapacityUsedTakeoverWarning）	リスク	ノード	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ノード利用率の重大しきい値を超過（ocumNodeUtilizationIncident）	インシデント	ノード	重大
ノード利用率の警告しきい値を超過（ocumNodeUtilizationWarning）	リスク	ノード	警告
利用率の高いノード HA ペアの情報しきい値を超過（ocumNodeHaPairOverUtilizedInformation）	イベント	ノード	情報
ノード ディスク断片化の警告しきい値を超過（ocumNodeDiskFragmentationWarning）	リスク	ノード	警告
使用済みパフォーマンス容量しきい値を超過（ocumNodeOverUtilizedWarning）	リスク	ノード	警告
ノード動的イベントの警告しきい値を超過（ocumNodeDynamicEventWarning）	リスク	ノード	警告

影響領域：セキュリティ

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
アドバイザリID：NTAP-<*advisory ID*>（ocumx）	リスク	ノード	重大

Active IQ Unified Manager の NVRAM バッテリーイベントについて

NVRAMバッテリ イベントは、バッテリのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
NVRAM バッテリ低下（ocumEvtNvramBatteryLow）	リスク	ノード	警告
NVRAM バッテリ放電（ocumEvtNvramBatteryDischarged）	リスク	ノード	エラー
NVRAM バッテリ過充電（ocumEvtNvramBatteryOverCharged）	インシデント	ノード	重大

Active IQ Unified Manager のポートイベントについて

ポート イベントは、クラスタ ポートのステータスを提供して、ポートでの変更や問題（ポートがダウンしているかどうかなど）を監視できるようにします。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ポート ステータス - 停止（ocumEvtPortStatusDown）	インシデント	ノード	重大

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ネットワーク ポート MBps の重大しきい値を超過（ocumNetworkPortMbpsIncident）	インシデント	ポート	重大
ネットワーク ポート MBps の警告しきい値を超過（ocumNetworkPortMbpsWarning）	リスク	ポート	警告
FCP ポート MBps の重大しきい値を超過（ocumFcpPortMbpsIncident）	インシデント	ポート	重大
FCP ポート MBps の警告しきい値を超過（ocumFcpPortMbpsWarning）	リスク	ポート	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ネットワーク ポート利用率の重大しきい値を超過（ocumNetworkPortUtilizationIncident）	インシデント	ポート	重大
ネットワーク ポート利用率の警告しきい値を超過（ocumNetworkPortUtilizationWarning）	リスク	ポート	警告
FCP ポート利用率の重大しきい値を超過（ocumFcpPortUtilizationIncident）	インシデント	ポート	重大
FCP ポート利用率の警告しきい値を超過（ocumFcpPortUtilizationWarning）	リスク	ポート	警告

Active IQ Unified Manager の電源装置イベントについて

電源装置イベントは、ハードウェアのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
1 つ以上の電源装置に障害（ocumEvtPowerSupplyOneOrMoreFailed）	インシデント	ノード	重大

Active IQ Unified Manager の保護イベントについて

保護イベントは、ジョブの失敗や中止を通知して、問題を監視できるようにします。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：保護

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
保護ジョブ失敗（ocumEvtProtectionJobTaskFailed）	インシデント	ボリュームまたはストレージ サービス	重大

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
保護ジョブ中止（ocumEvtProtectionJobAborted）	リスク	ボリュームまたはストレージ サービス	警告

Active IQ Unified Manager の Qtree イベントについて

qtreeイベントは、qtreeの容量やファイルとディスクの制限に関する情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
qtree スペースがほぼフル（ocumEvtQtreeSpaceNearlyFull）	リスク	qtree	警告
qtree スペースがフル（ocumEvtQtreeSpaceFull）	リスク	qtree	エラー
qtree のスペースが正常（ocumEvtQtreeSpaceThresholdOk）	イベント	qtree	情報
qtree のファイル数がハード リミットに到達（ocumEvtQtreeFilesHardLimitReached）	インシデント	qtree	重大
qtree のファイル数がソフト リミットを超過（ocumEvtQtreeFilesSoftLimitBreached）	リスク	qtree	警告
qtree のスペースがハード リミットに到達（ocumEvtQtreeSpaceHardLimitReached）	インシデント	qtree	重大
qtree のスペースがソフト リミットを超過（ocumEvtQtreeSpaceSoftLimitBreached）	リスク	qtree	警告

Active IQ Unified Manager のサービスプロセッサイベントについて

サービス プロセッサ イベントは、プロセッサのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名と

トラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
サービス プロセッサが未設定（ocumEvtServiceProcessorNotConfigured）	リスク	ノード	警告
サービス プロセッサはオフライン（ocumEvtServiceProcessorOffline）	リスク	ノード	エラー

Active IQ Unified Manager の SnapMirror 関係イベントについて

SnapMirror関係イベントは、非同期SnapMirror関係と同期SnapMirror関係のステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。非同期SnapMirror関係イベントはStorage VMとボリュームの両方について生成されますが、同期SnapMirror関係イベントはボリューム関係についてのみ生成されます。Storage VMディザスタ リカバリ関係を構成するコンスティチュエント ボリュームについてはイベントは生成されません。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：保護

アスタリスク（*）は、EMSイベントがUnified Managerイベントに変換されたことを示します。

SnapMirror関係イベントは、Storage VMディザスタ リカバリで保護されているStorage VMについて生成されますが、コンスティチュエント オブジェクトの関係については生成されません。

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ミラー レプリケーションは正常でない（ocumEvtSnapmirrorRelationshipUnhealthy）	リスク	SnapMirror関係	警告
ミラー レプリケーションを切断（ocumEvtSnapmirrorRelationshipStateBrokenoff）	リスク	SnapMirror関係	エラー
ミラー レプリケーションの初期化失敗（ocumEvtSnapmirrorRelationshipInitializeFailed）	リスク	SnapMirror関係	エラー

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ミラー レプリケーションの更新失敗（ocumEvtSnapmirrorRelationshipUpdateFailed）	リスク	SnapMirror関係	エラー
ミラー レプリケーションの遅延エラー（ocumEvtSnapMirrorRelationshipLagError）	リスク	SnapMirror関係	エラー
ミラー レプリケーションの遅延警告（ocumEvtSnapMirrorRelationshipLagWarning）	リスク	SnapMirror関係	警告
ミラー レプリケーションの再同期失敗（ocumEvtSnapmirrorRelationshipResyncFailed）	リスク	SnapMirror関係	エラー
同期レプリケーションが同期していません *（syncSnapmirrorRelationshipOutofsync）	リスク	SnapMirror関係	警告
同期レプリケーションが復元されました *（syncSnapmirrorRelationshipInSync）	イベント	SnapMirror関係	情報
同期レプリケーションの自動再同期が失敗しました *（syncSnapmirrorRelationshipAutoSyncRetryFailed）	リスク	SnapMirror関係	エラー
ONTAP Mediator をクラスタに追加（snapmirrorMediatorAdded）	イベント	クラスタ	情報
ONTAP Mediator をクラスタから削除（snapmirrorMediatorRemoved）	イベント	クラスタ	情報
ONTAP Mediator にクラスタから到達不能（snapmirrorMediatorUnreachable）	リスク	メディエーター	警告
ONTAP Mediator にクラスタからアクセス不能（snapmirrorMediatorMisconfigured）	リスク	メディエーター	エラー

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ONTAP Mediator接続を再確立して再同期、SnapMirrorアクティブ同期の準備完了（snapmirrorMediatorInQuorum）	イベント	メディエーター	情報

Active IQ Unified Manager における非同期ミラーと **Vault** の関係イベントについて

非同期ミラー バックアップ関係イベントは、非同期SnapMirror関係とバックアップ関係のステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。非同期ミラー バックアップ関係イベントは、ボリュームとStorage VMの両方の保護関係についてサポートされます。ただし、Storage VMディザスタ リカバリのバックアップ関係はサポートされません。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：保護

SnapMirror関係とバックアップ関係のイベントは、Storage VMディザスタ リカバリで保護されているStorage VMについても生成されますが、コンスティチュエント オブジェクトの関係については生成されません。

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
非同期ミラー バックアップは正常でない（ocumEvtMirrorVaultRelationshipUnhealthy）	リスク	SnapMirror関係	警告
非同期ミラー バックアップを切断（ocumEvtMirrorVaultRelationshipStateBrokenoff）	リスク	SnapMirror関係	エラー
非同期ミラー バックアップの初期化失敗（ocumEvtMirrorVaultRelationshipInitializeFailed）	リスク	SnapMirror関係	エラー
非同期ミラー バックアップの更新失敗（ocumEvtMirrorVaultRelationshipUpdateFailed）	リスク	SnapMirror関係	エラー
非同期ミラー バックアップの遅延エラー（ocumEvtMirrorVaultRelationshipLagError）	リスク	SnapMirror関係	エラー

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
非同期ミラー バックアップの遅延警告（ocumEvtMirrorVaultRelationshipLagWarning）	リスク	SnapMirror関係	警告
非同期ミラー バックアップの再同期失敗（ocumEvtMirrorVaultRelationshipResyncFailed）	リスク	SnapMirror関係	エラー

「SnapMirror 更新失敗」イベントは、Active IQポータル（Config Advisor）から生成されます。

Active IQ Unified Manager のスナップショットイベントについて

Snapshotイベントは、Snapshotのステータス情報を提供します。これにより、Snapshotの潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
Snapshot の自動削除が無効（該当なし）	イベント	Volume	情報
Snapshot の自動削除が有効（該当なし）	イベント	Volume	情報
Snapshot の自動削除の設定を変更（該当なし）	イベント	Volume	情報

Active IQ Unified Manager の SnapVault 関係イベントについて

SnapVault関係イベントは、SnapVault関係のステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：保護

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
非同期バックアップは正常でない（ocumEvtSnapVaultRelationshipUnhealthy）	リスク	SnapMirror関係	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
非同期バックアップを切断（ocumEvtSnapVaultRelationshipStateBrokenoff）	リスク	SnapMirror関係	エラー
非同期バックアップの初期化失敗（ocumEvtSnapVaultRelationshipInitializeFailed）	リスク	SnapMirror関係	エラー
非同期バックアップの更新失敗（ocumEvtSnapVaultRelationshipUpdateFailed）	リスク	SnapMirror関係	エラー
非同期バックアップの遅延エラー（ocumEvtSnapVaultRelationshipLagError）	リスク	SnapMirror関係	エラー
非同期バックアップの遅延警告（ocumEvtSnapVaultRelationshipLagWarning）	リスク	SnapMirror関係	警告
非同期バックアップの再同期失敗（ocumEvtSnapvaultRelationshipResyncFailed）	リスク	SnapMirror関係	エラー

Active IQ Unified Manager のストレージフェイルオーバー設定イベントの詳細

ストレージ フェイルオーバー（SFO）の設定のイベントは、ストレージ フェイルオーバーが無効な状態または設定されていない状態に関する情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ストレージ フェイルオーバー インターコネクトの 1 つ以上のリンクが停止（ocumEvtSfoInterconnectOneOrMoreLinksDown）	リスク	ノード	警告
ストレージ フェイルオーバーが無効（ocumEvtSfoSettingsDisabled）	リスク	ノード	エラー

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ストレージ フェイルオーバーが未設定（ocumEvtSfoSettingsNotConfigured）	リスク	ノード	エラー
ストレージ フェイルオーバーの状態 - テイクオーバー（ocumEvtSfoStateTakeover）	リスク	ノード	警告
ストレージ フェイルオーバーの状態 - 部分的なギブバック（ocumEvtSfoStatePartialGiveback）	リスク	ノード	エラー
ストレージ フェイルオーバー ノード ステータス - 停止（ocumEvtSfoNodeStatusDown）	リスク	ノード	エラー
ストレージ フェイルオーバーのテイクオーバー実行不可（ocumEvtSfoTakeoverNotPossible）	リスク	ノード	エラー

Active IQ Unified Manager のストレージサービスイベントについて

ストレージ サービス イベントは、ストレージ サービスの作成とサブスクリプションに関する情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ストレージ サービスを作成（該当なし）	イベント	ストレージ サービス	情報
ストレージ サービスをサブスクライブ（該当なし）	イベント	ストレージ サービス	情報
ストレージ サービスをアンサブスクライブ（該当なし）	イベント	ストレージ サービス	情報

影響範囲：保護

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
管理対象 SnapMirror 関係の予期しない削除（ocumEvtStorageServiceUnsupportedRelationshipDeletion）	リスク	ストレージ サービス	警告
ストレージ サービス メンバー ボリュームの予期しない削除（ocumEvtStorageServiceUnexpectedVolumeDeletion）	インシデント	ストレージ サービス	重大

Active IQ Unified Manager のストレージシェルフイベントについて

ストレージ シェルフ イベントは、ストレージ シェルフが異常な状態である場合に通知します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
異常な電圧範囲（ocumEvtShelfVoltageAbnormal）	リスク	ストレージ シェルフ	警告
異常な電流範囲（ocumEvtShelfCurrentAbnormal）	リスク	ストレージ シェルフ	警告
異常な温度（ocumEvtShelfTemperatureAbnormal）	リスク	ストレージ シェルフ	警告

Active IQ Unified Manager のストレージ VM イベントについて

Storage VM（Storage Virtual Machine、SVM）イベントは、Storage VM（SVM）のステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

アスタリスク（*）は、EMSイベントがUnified Managerイベントに変換されたことを示します。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
Storage VM CIFSサービス停止（ocumEvtVserverCifsServiceStatusDown）	インシデント	SVM	重大
SVM CIFS サービス未設定（該当なし）	イベント	SVM	情報
存在しない CIFS 共有への接続試行 *（nbladeCifsNoPrivShare）	インシデント	SVM	重大
CIFS NetBIOS 名競合 *（nbladeCifsNbNameConflict）	リスク	SVM	エラー
CIFSシャドウコピー操作が失敗しました *（cifsShadowCopyFailure）	リスク	SVM	エラー
多数のCIFS接続 *（nbladeCifsManyAuths）	リスク	SVM	エラー
最大CIFS接続数を超えました *（nbladeCifsMaxOpenSameFile）	リスク	SVM	エラー
ユーザーあたりのCIFS接続の最大数を超えました*（nbladeCifsMaxSessPerUsrConn）	リスク	SVM	エラー
SVM FC / FCoE サービス停止（ocumEvtVserverFcServiceStatusDown）	インシデント	SVM	重大
SVM iSCSI サービス停止（ocumEvtVserverIscsiServiceStatusDown）	インシデント	SVM	重大
Storage VM NFSサービス停止（ocumEvtVserverNfsServiceStatusDown）	インシデント	SVM	重大
SVM FC / FCoE サービス未設定（該当なし）	イベント	SVM	情報
SVM iSCSI サービス未設定（該当なし）	イベント	SVM	情報

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
SVM NFS サービス未設定（該当なし）	イベント	SVM	情報
Storage VM停止（ocumEvtVserverDown）	リスク	SVM	警告
AVサーバがビジー状態のため、新しいスキャン要求を受け付けられません *（nbladeVscanConnBackPressure）	リスク	SVM	エラー
ウイルススキャンのAVサーバ接続なし *（nbladeVscanNoScannerConn）	インシデント	SVM	重大
AVサーバが登録されていません*（nbladeVscanNoRegdScanner）	リスク	SVM	エラー
応答のないAVサーバ接続 *（nbladeVscanConnInactive）	イベント	SVM	情報
不正ユーザによるAVサーバへのアクセス試行 *（nbladeVscanBadUserPrivAccess）	リスク	SVM	エラー
AVサーバによるウイルス検出 *（nbladeVscanVirusDetected）	リスク	SVM	エラー

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
SVM を検出（該当なし）	イベント	SVM	情報
SVM を削除（該当なし）	イベント	クラスタ	情報
SVM の名前を変更（該当なし）	イベント	SVM	情報

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
SVM IOPS の重大しきい値を超過（ocumSvmIopsIncident）	インシデント	SVM	重大
SVM IOPS の警告しきい値を超過（ocumSvmIopsWarning）	リスク	SVM	警告
SVM MBps の重大しきい値を超過（ocumSvmMbpsIncident）	インシデント	SVM	重大
SVM MBps の警告しきい値を超過（ocumSvmMbpsWarning）	リスク	SVM	警告
SVM レイテンシの重大しきい値を超過（ocumSvmLatencyIncident）	インシデント	SVM	重大
SVM レイテンシの警告しきい値を超過（ocumSvmLatencyWarning）	リスク	SVM	警告

影響領域：セキュリティ

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
監査ログが無効（ocumVserverAuditLogDisabled）	リスク	SVM	警告
ログイン バナーが無効（ocumVserverLoginBannerDisabled）	リスク	SVM	警告
SSH でセキュアでない暗号を使用（ocumVserverSSHInsecure）	リスク	SVM	警告
ログイン バナーを変更（ocumVserverLoginBannerChanged）	リスク	SVM	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
Storage VM のランサムウェア対策監視が無効になっています（antiRansomwareSvmStateDisabled）	リスク	SVM	警告
ストレージVMのランサムウェア対策監視が有効になっています（学習モード）（antiRansomwareSvmStateDryrun）	イベント	SVM	情報
Storage VM がランサムウェア対策監視に適合（学習モード）（ocumEvtSvmArwCandidate）	イベント	SVM	情報

Active IQ Unified Manager のユーザーおよびグループ クォータイベントについて

ユーザ クォータとグループ クォータのイベントは、ユーザ クォータとユーザ グループ クォータの容量およびファイルとディスクの制限に関する情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ユーザ / グループ クォータのディスク スペースがソフト リミットを超過（ocumEvtUserOrGroupQuotaDiskSpaceSoftLimitBreached）	リスク	ユーザまたはグループ クォータ	警告
ユーザ / グループ クォータのディスク スペースがハード リミットに到達（ocumEvtUserOrGroupQuotaDiskSpaceHardLimitReached）	インシデント	ユーザまたはグループ クォータ	重大

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ユーザ クォータまたはグループ クォータのファイル数がソフト リミットを超過（ocumEvtUserOrGroupQuotaFileCountSoftLimitBreached）	リスク	ユーザまたはグループ クォータ	警告
ユーザ クォータまたはグループ クォータのファイル数がハード リミットに到達（ocumEvtUserOrGroupQuotaFileCountHardLimitReached）	インシデント	ユーザまたはグループ クォータ	重大

Active IQ Unified Manager のボリュームイベントについて

ボリューム イベントは、ボリュームのステータスに関する情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

アスタリスク（*）は、EMSイベントがUnified Managerイベントに変換されたことを示します。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ボリュームは制限状態（ocumEvtVolumeRestricted）	リスク	Volume	警告
ボリュームはオフライン（ocumEvtVolumeOffline）	インシデント	Volume	重大
ボリュームは一部使用可能（ocumEvtVolumePartiallyAvailable）	リスク	Volume	エラー
ボリュームをアンマウント（該当なし）	イベント	Volume	情報
ボリュームをマウント（該当なし）	イベント	Volume	情報
ボリュームを再マウント（該当なし）	イベント	Volume	情報

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ボリューム ジャンクション パスは非アクティブ（ocumEvtVolumeJunctionPathInactive）	リスク	Volume	警告
ボリュームのオートサイズを有効化（該当なし）	イベント	Volume	情報
ボリュームのオートサイズを無効化（該当なし）	イベント	Volume	情報
ボリュームのオートサイズの最大容量を変更（該当なし）	イベント	Volume	情報
ボリュームのオートサイズの増分サイズを変更（該当なし）	イベント	Volume	情報

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
シンプロビジョニング ボリュームにスペース リスクあり（ocumThinProvisionVolumeSpaceAtRisk）	リスク	Volume	警告
ボリューム効率化処理エラー（ocumEvtVolumeEfficiencyOperationError）	リスク	Volume	エラー
ボリューム スペースがフル（ocumEvtVolumeFull）	リスク	Volume	エラー
ボリューム スペースがほぼフル（ocumEvtVolumeNearlyFull）	リスク	Volume	警告
ボリューム論理領域がいっぱいです *（volumeLogicalSpaceFull）	リスク	Volume	エラー
ボリュームの論理領域がほぼ満杯です *（volumeLogicalSpaceNearlyFull）	リスク	Volume	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ボリューム論理スペース正常 *(volumeLogicalSpaceAllOK)	イベント	Volume	情報
ボリュームの Snapshot リザーブ スペースがフル（ocumEvtSnapshotFull）	リスク	Volume	警告
Snapshot コピー数の上限を超過（ocumEvtSnapshotTooMany）	リスク	Volume	エラー
ボリュームの qtree クォータがオーバーコミット（ocumEvtVolumeQtreeQuotaOvercommitted）	リスク	Volume	エラー
ボリュームの qtree クォータがほぼオーバーコミット（ocumEvtVolumeQtreeQuotaAlmostOvercommitted）	リスク	Volume	警告
ボリュームの増加率 - 異常（ocumEvtVolumeGrowthRateAbnormal）	リスク	Volume	警告
ボリュームのフルまでの日数（ocumEvtVolumeDaysUntilFullSoon）	リスク	Volume	エラー
ボリュームのスペース ギャランティを無効化（該当なし）	イベント	Volume	情報
ボリュームのスペース ギャランティを有効化（該当なし）	イベント	Volume	情報
ボリュームのスペース ギャランティを変更（該当なし）	イベント	Volume	情報
ボリュームの Snapshot リザーブのフルまでの日数（ocumEvtVolumeSnapshotReserveDaysUntilFullSoon）	リスク	Volume	エラー

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
FlexGroupコンスティチュエントにスペースの問題があります *（flexGroupConstituentsHaveSpaceIssues）	リスク	Volume	エラー
FlexGroup構成要素スペースの状態 すべてOK *（flexGroupConstituentsSpaceStatusAllOK）	イベント	Volume	情報
FlexGroup構成要素にinodeの問題があります *（flexGroupConstituentsHaveInodesIssues）	リスク	Volume	エラー
FlexGroup構成要素のIノードの状態 すべてOK *(flexGroupConstituentsInodesStatusAllOK)	イベント	Volume	情報
WAFLボリューム AutoSize 失敗 *（waflVolAutoSizeFail）	リスク	Volume	エラー
WAFLボリュームAutoSize完了 *（waflVolAutoSizeDone）	イベント	Volume	情報
FlexGroupボリュームが80%以上利用されています*	インシデント	Volume	エラー
FlexGroupボリュームが90%以上利用されています*	インシデント	Volume	重大
ボリューム ストレージ効率の異常（ocumVolumeAbnormalStorageEfficiencyWarning）	リスク	Volume	警告
ボリューム Snapshot リザーブの使用率が低い（volumeSnaphotReserveUnderutilizedWarning）	イベント	Volume	警告
ボリューム Snapshot リザーブの使用率が低い（volumeSnaphotReserveUnderutilizedCleared）	イベント	Volume	警告

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ボリュームの名前を変更（該当なし）	イベント	Volume	情報
ボリュームを検出（該当なし）	イベント	Volume	情報
ボリュームを削除（該当なし）	イベント	Volume	情報

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
QoS ボリューム最大 IOPS の警告しきい値を超過（ocumQosVolumeMaxIopsWarning）	リスク	Volume	警告
QoS ボリューム最大 MBps の警告しきい値を超過（ocumQosVolumeMaxMbpsWarning）	リスク	Volume	警告
QoS ボリューム最大 IOPS/TB の警告しきい値を超過（ocumQosVolumeMaxIopsPerTbWarning）	リスク	Volume	警告
パフォーマンス サービス レベル ポリシーに定義されたワークロードのボリューム レイテンシしきい値を超過（ocumConformanceLatencyWarning）	リスク	Volume	警告
ボリューム IOPS の重大しきい値を超過（ocumVolumeIopsIncident）	インシデント	Volume	重大
ボリューム IOPS の警告しきい値を超過（ocumVolumeIopsWarning）	リスク	Volume	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ボリューム MBps の重大しきい値を超過（ocumVolumeMbpsIncident）	インシデント	Volume	重大
ボリューム MBps の警告しきい値を超過（ocumVolumeMbpsWarning）	リスク	Volume	警告
ボリューム レイテンシの重大しきい値を超過（ocumVolumeLatencyIncident）	インシデント	Volume	重大
ボリューム レイテンシの警告しきい値を超過（ocumVolumeLatencyWarning）	リスク	Volume	警告
ボリューム キャッシュ ミス率の重大しきい値を超過（ocumVolumeCacheMissRatioIncident）	インシデント	Volume	重大
ボリューム キャッシュ ミス率の警告しきい値を超過（ocumVolumeCacheMissRatioWarning）	リスク	Volume	警告
ボリューム レイテンシ / IOPS の重大しきい値を超過（ocumVolumeLatencyIopsIncident）	インシデント	Volume	重大
ボリューム レイテンシ / IOPS の警告しきい値を超過（ocumVolumeLatencyIopsWarning）	リスク	Volume	警告
ボリューム レイテンシ / MBps の重大しきい値を超過（ocumVolumeLatencyMbpsIncident）	インシデント	Volume	重大
ボリューム レイテンシ / MBps の警告しきい値を超過（ocumVolumeLatencyMbpsWarning）	リスク	Volume	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ボリューム レイテンシ / アグリゲートの使用済みパフォーマンス容量の重大しきい値を超過（ocumVolumeLatencyAggregatePerfCapacityUsedIncident）	インシデント	Volume	重大
ボリューム レイテンシ / アグリゲートの使用済みパフォーマンス容量の警告しきい値を超過（ocumVolumeLatencyAggregatePerfCapacityUsedWarning）	リスク	Volume	警告
ボリューム レイテンシ / アグリゲート利用率の重大しきい値を超過（ocumVolumeLatencyAggregateUtilizationIncident）	インシデント	Volume	重大
ボリューム レイテンシ / アグリゲート利用率の警告しきい値を超過（ocumVolumeLatencyAggregateUtilizationWarning）	リスク	Volume	警告
ボリューム レイテンシ / ノードの使用済みパフォーマンス容量の重大しきい値を超過（ocumVolumeLatencyNodePerfCapacityUsedIncident）	インシデント	Volume	重大
ボリューム レイテンシ / ノードの使用済みパフォーマンス容量の警告しきい値を超過（ocumVolumeLatencyNodePerfCapacityUsedWarning）	リスク	Volume	警告
ボリューム レイテンシ / ノードの使用済みパフォーマンス容量 - テイクオーバーの重大しきい値を超過（ocumVolumeLatencyAggregatePerfCapacityUsedTakeoverIncident）	インシデント	Volume	重大

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ボリューム レイテンシ / ノードの使用済みパフォーマンス容量 - テイクオーバーの警告しきい値を超過（ocumVolumeLatencyAggregatePerfCapacityUsedTakeoverWarning）	リスク	Volume	警告
ボリューム レイテンシ / ノード利用率の重大しきい値を超過（ocumVolumeLatencyNodeUtilizationIncident）	インシデント	Volume	重大
ボリューム レイテンシ / ノード利用率の警告しきい値を超過（ocumVolumeLatencyNodeUtilizationWarning）	リスク	Volume	警告

影響領域：セキュリティ

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ボリュームランサムウェア監視が有効になっています（アクティブモード）（antiRansomwareVolumeStateEnabled）	イベント	Volume	情報
ボリュームランサムウェア監視は無効になっています（antiRansomwareVolumeStateDisabled）	リスク	Volume	警告
ボリュームランサムウェア監視が有効になっています（学習モード）（antiRansomwareVolumeStateDryrun）	イベント	Volume	情報
ボリュームランサムウェア監視は一時停止されています（学習モード）（antiRansomwareVolumeStateDryrunPaused）	リスク	Volume	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ボリュームのランサムウェア対策監視が一時停止されています（アクティブモード）（antiRansomwareVolumeStateEnablePaused）	リスク	Volume	警告
ボリュームランサムウェア監視は無効化中です（antiRansomwareVolumeStateDisableInProgress）	リスク	Volume	警告
ランサムウェア活動が確認されました（callHomeRansomwareActivitySeen）	インシデント	Volume	重大
ボリュームがランサムウェア対策監視に適合（学習モード）（ocumEvtVolumeArwCandidate）	イベント	Volume	情報
ボリュームがランサムウェア対策監視に適合（アクティブ モード）（ocumVolumeSuitedForActiveAntiRansomwareDetection）	リスク	Volume	警告
ボリュームにランサムウェア対策のアラートあり（antiRansomwareFeatureNoisyVolume）	リスク	Volume	警告

影響範囲：データ保護

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ボリュームでローカル Snapshot の保護が十分でない（volumeLacksLocalProtectionWarning）	リスク	Volume	警告
ボリュームでローカル Snapshot の保護が十分でない（volumeLacksLocalProtectionCleared）	リスク	Volume	警告

Active IQ Unified Manager のボリューム移動ステータスイベントについて

ボリューム移動のステータスのイベントは、ボリューム移動のステータスについて通知します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソース タイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソース タイプ	重大度
ボリューム移動ステータス：進行中（該当なし）	イベント	Volume	情報
ボリューム移動ステータス - 失敗（ocumEvtVolumeMoveFailed）	リスク	Volume	エラー
ボリューム移動ステータス：完了（該当なし）	イベント	Volume	情報
ボリューム移動ステータス - カットオーバー保留（ocumEvtVolumeMoveCutoverDeferred）	リスク	Volume	警告

イベントのウィンドウとダイアログ ボックスの説明

Active IQ Unified Manager の通知ページについて

Unified Managerサーバでは、イベントが生成されたときやユーザに割り当てられたときに通知を送信するように設定することができます。また、通知メカニズムを設定することもできます。たとえば、通知をEメールやSNMPトラップとして送信できます。

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

Eメール

この領域では、アラート通知に対して次のEメール設定を行うことができます。

- 送信元アドレス

  アラート通知の送信元となるメールアドレスを指定します。この値は、レポートを共有する際の送信元アドレスとしても使用されます。[送信元アドレス]に「ActiveIQUnifiedManager@localhost.com」というアドレスが事前に入力されている場合、すべてのEメール通知が正しく送信されるように実際のEメール アドレスに変更する必要があります。

SMTPサーバ

この領域では、次のSMTPサーバ設定を行うことができます。

- ホスト名または**IP**アドレス

  SMTPホスト サーバのホスト名を指定します。このホスト名は、指定した受信者へのアラート通知の送信に使用されます。

- ユーザー名

  SMTPユーザ名を指定します。SMTPユーザ名は、SMTPサーバでSMTPAUTHが有効になっている場合にのみ必要です。

- パスワード

  SMTPパスワードを指定します。SMTPユーザ名は、SMTPサーバでSMTPAUTHが有効になっている場合にのみ必要です。

- ポート

  アラート通知を送信するSMTPホスト サーバで使用されるポートを指定します。

  デフォルト値は25です。

- **START/TLS**を使用する

  このチェック ボックスをオンにすると、TLS/SSLプロトコル（start_tlsおよびStartTLSとも表記）を使用してSMTPサーバと管理サーバの間のセキュアな通信が確立されます。

- **SSL**を使用する

  このチェック ボックスをオンにすると、SSLプロトコルを使用してSMTPサーバと管理サーバの間のセキュアな通信が確立されます。

SNMP

この領域では、次のSNMPトラップ設定を行うことができます。

- バージョン

  必要なセキュリティのタイプに応じて、使用するSNMPバージョンを指定します。[バージョン 1]、[バージョン 3]、[バージョン 3、認証を使用]、[バージョン 3、認証と暗号化を使用]の各オプションがあります。デフォルト値は[バージョン 1]です。

- トラップ宛先ホスト

  管理サーバによって送信されるSNMPトラップを受信するホスト名またはIPアドレス（IPv4またはIPv6）を指定します。トラップの送信先を複数指定するには、各ホストをカンマで区切ります。

  他のすべてのSNMP設定（バージョンやアウトバウンド ポートなど）がリスト内のすべてのホストで同じである必要があります。

- アウトバウンドトラップポート

  管理サーバによって送信されるトラップをSNMPサーバが受信する際に使用するポートを指定します。

  デフォルト値は162です。

- コミュニティ

  ホストにアクセスするためのコミュニティ ストリングです。

- エンジンID

  SNMPエージェントの一意の識別子を指定します。この識別子は、管理サーバによって自動的に生成されます。[エンジン ID]は、[SNMP バージョン 3]、[SNMP バージョン 3、認証を使用]、および[SNMP バージョン 3、認証と暗号化を使用]とともに使用できます。

- ユーザー名

  SNMPユーザ名を指定します。[ユーザ名]は、[SNMP バージョン 3]、[SNMP バージョン 3、認証を使用]、および[SNMP バージョン 3、認証と暗号化を使用]とともに使用できます。

- 認証プロトコル

  ユーザの認証に使用するプロトコルを指定します。プロトコルのオプションには[MD5]と[SHA]があります。デフォルト値は[MD5]です。[認証プロトコル]は、[SNMP バージョン 3、認証を使用]および[SNMP バージョン 3、認証と暗号化を使用]とともに使用できます。

- 認証パスワード

  ユーザの認証時に使用するパスワードを指定します。[認証パスワード]は、[SNMP バージョン 3、認証を使用]および[SNMP バージョン 3、認証と暗号化を使用]とともに使用できます。

- プライバシープロトコル

  SNMPメッセージの暗号化に使用するプライバシー プロトコルを指定します。プロトコルのオプションには[AES 128]と[DES]があります。デフォルト値は[AES 128]です。[プライバシー プロトコル]は、[SNMP バージョン 3、認証と暗号化を使用]とともに使用できます。

- プライバシーパスワード

  プライバシー プロトコルの使用時のパスワードを指定します。[プライバシー パスワード]は、[SNMP バージョン 3、認証と暗号化を使用]とともに使用できます。

SNMPオブジェクトとトラップの詳細については、"Active IQ Unified Manager MIB"をNetApp Support Siteからダウンロードできます。

Active IQ Unified Manager のイベント管理インベントリページについて

[イベント管理]インベントリ ページでは、現在のイベントとそのプロパティのリストを確認できます。イベントについて、確認、解決、割り当てなどのタスクを実行することができます。特定のイベントに対するアラートを追加することもできます。

このページの情報は5分ごとに自動的に更新され、最新のイベントが表示されます。

フィルタ コンポーネント

イベント リストに表示される情報をカスタマイズできます。次のコンポーネントを使用して、イベントのリストを絞り込むことができます。

- メニューを表示して、事前定義済みのフィルター選択肢のリストから選択します。

  たとえば、すべてのアクティブなイベント（新規および確認済みのイベント）、アクティブなパフォーマンス イベント、自分（ログインしているユーザ）に割り当てられているイベント、メンテナンス時間中に生成されたすべてのイベントなどの項目があります。

- 検索ペインに、イベントの一覧を絞り込むための語句（全部または一部）を入力します。
- [フィルタ]ボタン。[フィルタ]ペインを起動し、使用可能なすべてのフィールドとフィールド属性から条件を選択してイベントのリストを絞り込むことができます。

コマンド ボタン

各コマンド ボタンを使用して次のタスクを実行できます。

- 担当者

  イベントを割り当てるユーザを選択できます。イベントをユーザに割り当てると、イベント リストの選択したイベントの該当するフィールドに、そのユーザの名前とイベントを割り当てた時刻が追加されます。

  - 自分

    現在ログインしているユーザにイベントを割り当てます。

  - 別のユーザ

    [所有者の割り当て]ダイアログ ボックスが表示され、イベントを他のユーザに割り当てたり再割り当てしたりできます。所有権のフィールドを空白にすると、イベントの割り当てを解除できます。

- 確認

  選択したイベントを確認します。

  イベントを確認すると、イベント リストの選択したイベントの該当するフィールドに、自分のユーザ名とイベントを確認した時刻が追加されます。確認したイベントについては、自分で対処する必要があります。

  情報イベントに確認応答することはできません。

- 解決済みとしてマークする

  イベントの状態を解決済みに変更できます。

  イベントを解決すると、イベント リストの選択したイベントの該当するフィールドに、自分のユーザ名とイベントを解決した時刻が追加されます。イベントに対処したら、そのイベントを解決済みとしてマークする必要があります。

- アラートを追加

  [アラートの追加]ダイアログ ボックスが表示され、選択したイベントにアラートを追加できます。

- レポート

  現在のイベント ビューの詳細をカンマ区切り値（.csv）ファイルまたはPDFドキュメントとしてエクスポートできます。

- 列セレクターの表示/非表示

  ページに表示する列とその表示順序を選択できます。

[イベント]リスト

すべてのイベントの詳細がトリガーされた時刻の順に表示されます。

デフォルトでは、「すべてのアクティブなイベント」ビューが表示され、過去7日間に発生した、インシデントまたはリスクの影響レベルを持つ新規イベントと確認済みイベントが表示されます。

- トリガー時間

  イベントが生成された時刻。

- 重大度

  イベントの重大度：重大 ()、エラー ()、警告 ()、および情報 ()。

- 状態

  イベントの状態：新規、承認済み、解決済み、または廃止済み。

- 影響度

  イベントの影響レベル：インシデント、リスク、イベント、またはアップグレード。

- 影響範囲

  イベントの影響範囲：可用性、容量、パフォーマンス、保護、構成、またはセキュリティ。

- 名前

  イベント名。名前を選択して、そのイベントの[イベントの詳細]ページを表示できます。

- ソース

  イベントが発生したオブジェクトの名前。名前を選択して、そのオブジェクトの健全性またはパフォーマンスの詳細ページを表示できます。

  共有QoSポリシーの違反の場合、このフィールドには、IOPSまたはMBpsが高い上位のワークロード オブジェクトのみが表示されます。このポリシーを使用する他のワークロードは[イベントの詳細]ページに表示されます。

- ソースタイプ

  イベントが関連付けられているオブジェクトのタイプ（Storage VM、ボリューム、qtreeなど）。

- 担当者

  イベントが割り当てられているユーザの名前。

- イベント発生源

  「Active IQポータル」のイベントか、「Active IQ Unified Manager」から直接のイベントか。

- 注釈名

  ストレージ オブジェクトに割り当てられたアノテーションの名前。

- 注記

  イベントに追加されているメモの数。

- 未払い日数

  イベントが最初に生成されてからの経過日数。

- 割り当てられた時間

  イベントがユーザに割り当てられてからの経過時間。1週間を過ぎたイベントには、割り当て時のタイムスタンプが表示されます。

- 承認者

  イベントを確認したユーザの名前。イベントが確認されていない場合は空白になります。

- 確認時刻

  イベントが確認されてからの経過時間。1週間を過ぎたイベントには、確認時のタイムスタンプが表示されます。

- 解決済み

  イベントを解決したユーザの名前。イベントが解決されていない場合は空白になります。

- 解決時刻

  イベントが解決されてからの経過時間。1週間を過ぎたイベントには、解決時のタイムスタンプが表示されます。

- 廃止時刻

  イベントの状態が「廃止」になった時刻。

[イベントの詳細]ページ

Active IQ Unified Manager のイベント詳細ページについて

[イベントの詳細]ページでは、選択したイベントの重大度、影響レベル、影響領域、イベント ソースなどの詳細を確認できます。問題を解決するための考えられる対処方法に関する追加情報も確認できます。

- イベント名

  イベントの名前と最終確認時刻。

  パフォーマンス イベント以外のイベントの場合は、状態が「新規」または「確認済み」のときは最終確認時刻が不明なため、この情報は表示されません。

- イベント概要

  イベントの簡単な説明。

  イベントの説明には、イベントがトリガーされた理由が含まれる場合があります。

- 競合するコンポーネント

  動的なパフォーマンス イベントについて、クラスタの論理コンポーネントと物理コンポーネントを表すアイコンが表示されます。コンポーネントが競合状態にある場合は、アイコンが赤い丸で強調表示されます。

  ここに表示されているコンポーネントの説明については、「クラスタコンポーネントとその競合が発生する理由」を参照してください。

[イベント情報]、[システム診断]、[推奨される操作]の各セクションについては、他のトピックで説明しています。

コマンド ボタン

各コマンド ボタンを使用して次のタスクを実行できます。

- メモアイコン

  イベントに関するメモを追加または更新したり、他のユーザが残したすべてのメモを確認したりできます。

アクションメニュー

- 自分に割り当て

  イベントを自分に割り当てます。

- 他者に割り当てる

  [所有者の割り当て]ダイアログ ボックスが開き、イベントを他のユーザに割り当てたり再割り当てしたりできます。

イベントをユーザに割り当てると、イベント リストの選択したイベントの該当するフィールドに、そのユーザの名前とイベントが割り当てられた時刻が追加されます。

所有権のフィールドを空白にすると、イベントの割り当てを解除できます。

- 確認

  選択したイベントに確認応答し、アラート通知が繰り返し送信されないようにします。

  イベントに確認応答すると、イベント リストの選択したイベントの該当するフィールド（[確認者]）に、自分のユーザ名とイベントに応答した時刻が追加されます。確認応答したイベントについては、自分で対処する必要があります。

- 解決済みとしてマークする

  イベントの状態を「解決済み」に変更できます。

  イベントを解決すると、イベント リストの選択したイベントの該当するフィールド（[解決者]）に、自分のユーザ名とイベントを解決した時刻が追加されます。イベントに対処したら、そのイベントを解決済みとしてマークする必要があります。

- アラートを追加

  [アラートの追加]ダイアログ ボックスが表示され、選択したイベントにアラートを追加できます。

Active IQ Unified Manager のイベント情報セクションについて

[イベントの詳細]ページの[イベント情報]セクションでは、選択したイベントの重大度、影響レベル、影響領域、イベント ソースなどの詳細を確認できます。

イベント タイプに関係のないフィールドは表示されません。イベントに関する次の詳細を確認できます。

- イベント発生時刻

  イベントが生成された時刻。

- 状態

  イベントの状態：新規、承認済み、解決済み、または廃止済み。

- 廃止原因

  イベントが廃止になった理由（問題が修正されたなど）。

- イベント期間

  アクティブなイベント（新規および確認済みのイベント）の場合は、イベントが検出されてから最後に分析されたときまでの時間です。廃止状態のイベントの場合は、イベントが検出されてから解決されるまでの時間です。

  このフィールドは、すべてのパフォーマンス イベントに対して表示されます。その他のタイプのイベントについては、解決されるか廃止になったあとにのみ表示されます。

- 最終確認日時

  イベントがアクティブだった最終日時。

  パフォーマンスイベントの場合、この値はイベントトリガー時刻よりも新しい値になる可能性があります。これは、イベントがアクティブである限り、パフォーマンスデータが新たに収集されるたびにこのフィールドが更新されるためです。その他の種類のイベントの場合、新規または承認済み状態であれば、このコンテンツは更新されず、したがってフィールドは非表示になります。

- 重大度

  イベントの重大度：重大 ()、エラー ()、警告 ()、および情報 ()。

- 影響度

  イベントの影響レベル：インシデント、リスク、イベント、またはアップグレード。

- 影響範囲

  イベントの影響範囲：可用性、容量、パフォーマンス、保護、構成、またはセキュリティ。

- ソース

  イベントが発生したオブジェクトの名前。

  共有QoSポリシーのイベントの詳細を表示している場合、このフィールドには、IOPSまたはMBpsが高い上位のワークロード オブジェクトが最大3つ表示されます。

  ソース名のリンクをクリックすると、そのオブジェクトの健全性またはパフォーマンスの詳細ページを表示できます。

- 出典注釈

  イベントが関連付けられているオブジェクトのアノテーションの名前と値が表示されます。

  このフィールドは、クラスタ、SVM、およびボリュームの健全性イベントに対してのみ表示されます。

- ソースグループ

  該当するオブジェクトがメンバーとして属しているすべてのグループの名前が表示されます。

  このフィールドは、クラスタ、SVM、およびボリュームの健全性イベントに対してのみ表示されます。

- ソースタイプ

  イベントが関連付けられているオブジェクトの種類（例：SVM、Volume、Qtree）。

- クラスター上

  イベントが発生したクラスタの名前。

  クラスタ名のリンクをクリックすると、そのクラスタの健全性またはパフォーマンスの詳細ページを表示できます。

- 影響を受けるオブジェクトの数

  イベントの影響を受けるオブジェクトの数。

  オブジェクトのリンクをクリックすると、インベントリ ページが表示され、現在このイベントの影響を受けているオブジェクトを確認できます。

  このフィールドは、パフォーマンス イベントに対してのみ表示されます。

- 影響を受けるボリューム

  このイベントの影響を受けるボリュームの数。

  このフィールドは、ノードまたはアグリゲートのパフォーマンス イベントに対してのみ表示されます。

- トリガーされたポリシー

  イベントを発行したしきい値ポリシーの名前。

  ポリシー名にカーソルを合わせると、しきい値ポリシーの詳細を確認できます。アダプティブQoSポリシーの場合は、定義されているポリシー、ブロック サイズ、および割り当てのタイプ（割り当てスペースまたは使用スペース）も表示されます。

  このフィールドは、パフォーマンス イベントに対してのみ表示されます。

- ルール**ID**

  Active IQ プラットフォームイベントの場合、これはイベントを生成するためにトリガーされたルールの番号です。

- 承認者

  イベントに確認応答したユーザの名前と応答時刻。

- 解決者

  イベントを解決したユーザの名前と解決時刻。

- 担当者

  イベントへの対応が割り当てられているユーザの名前。

- アラート設定

  アラートに関する次の情報が表示されます。

  - 選択したイベントに関連付けられたアラートがない場合は、「アラートを追加」リンクが表示されます。

    リンクをクリックすると、[アラートの追加]ダイアログ ボックスが開きます。

  - 選択したイベントにアラートが1つ関連付けられている場合は、そのアラートの名前が表示されます。

リンクをクリックすると、[アラートの編集]ダイアログ ボックスが開きます。

- 選択したイベントにアラートが複数関連付けられている場合は、アラートの数が表示されます。

  リンクをクリックすると、[アラート セットアップ]ページが開き、それらのアラートに関する詳細が表示されます。

無効になっているアラートは表示されません。

- 最終通知送信済み

  最新のアラート通知が送信された日時。

- 送信者

  アラート通知の送信に使用されたメカニズム（EメールまたはSNMPトラップ）。

- 前回のスクリプト実行

  アラートが生成されたときに実行されたスクリプトの名前。

Active IQ Unified Manager の推奨アクションについて

[イベントの詳細]ページの[推奨される操作]セクションには、イベントの考えられる理由とイベントを解決するための推奨される対処方法が表示されます。推奨される操作は、イベントのタイプまたは超過したしきい値のタイプに基づいてカスタマイズされます。

この領域は、一部のタイプのイベントに対してのみ表示されます。

場合によっては、ページ上に「ヘルプ」リンクが用意されており、推奨される多くの操作に関する追加情報（特定の操作を実行するための手順など）を参照できます。一部の対処方法では、Unified Manager、ONTAP System Manager、OnCommand Workflow Automation、ONTAP CLIコマンド、またはこれらのツールの組み合わせを使用する場合があります。

これらの推奨される対処方法は、このイベントを解決するための一般的なガイダンスであることに注意してください。このイベントを解決するための対処方法は、それぞれの環境に応じて決める必要があります。

オブジェクトとイベントをより詳細に分析する場合は、*「ワークロードの分析」*ボタンをクリックしてワークロード分析ページを表示してください。

イベントによっては、Unified Managerの詳細な診断の結果、単一の解決策が提示されることがあります。解決策が利用可能な場合は、**Fix It** ボタンとともに表示されます。このボタンをクリックすると、Unified Manager がイベントの原因となっている問題を修正します。

Active IQ プラットフォームイベントの場合、このセクションには、問題とその解決策について説明した NetApp ナレッジベース記事へのリンクが含まれている場合があります（利用可能な場合）。外部ネットワーク アクセスのないサイトでは、ナレッジベース記事の PDF ファイルがローカルで開きます。この PDF ファイルは、Unified Manager インスタンスに手動でダウンロードするルールファイルの一部です。

Active IQ Unified Manager のシステム診断について

[イベントの詳細]ページの[システム診断]セクションには、イベントの原因となった可能

性がある問題の診断に役立つ情報が表示されます。

この領域は、一部のイベントに対してのみ表示されます。

一部のパフォーマンス イベントについては、トリガーされたイベントに関連するグラフが表示されます。通常は、過去10日間のIOPSまたはMBpsのグラフとレイテンシのグラフです。これらのグラフを確認することで、イベントがアクティブなときにレイテンシに影響している、または影響を受けているストレージ コンポーネントを特定することができます。

動的なパフォーマンス イベントについては、次のグラフが表示されます。

- ワークロード レイテンシ - 競合状態のコンポーネントのVictim、Bully、Sharkの上位のワークロードについて、レイテンシの履歴が表示されます。
- ワークロード アクティビティ - 競合状態のクラスタ コンポーネントのワークロードの使用量に関する詳細が表示されます。
- リソース アクティビティ - 競合状態のクラスタ コンポーネントの過去のパフォーマンス統計が表示されます。

一部のクラスタ コンポーネントが競合状態にある場合は、これ以外のグラフが表示されます。

その他のイベントについては、ストレージ オブジェクトに対して実行されている分析タイプの簡単な説明が表示されます。複数のパフォーマンス カウンタを分析するシステム定義のパフォーマンス ポリシーの場合は、複数の行（分析されたコンポーネントごとに1行）が表示されることがあります。この場合、診断の横に、その診断で問題が見つかったかどうかを示す緑または赤のアイコンが表示されます。

Active IQ Unified Manager のイベント設定ページについて

[イベント セットアップ]ページには、無効なイベントのリストが表示されます。また、関連付けられているオブジェクト タイプやイベントの重大度などの情報が提供されます。イベントのグローバルな無効化 / 有効化などのタスクを実行することもできます。

このページにアクセスできるのは、アプリケーション管理者ロールまたはストレージ管理者ロールが割り当てられている場合のみです。

コマンド ボタン

選択したイベントについて、各コマンド ボタンを使用して次のタスクを実行できます。

- 無効にする

  [イベントの無効化]ダイアログ ボックスを起動します。イベントを無効にする場合に使用できます。

- 有効にする

  以前に無効にするように選択したイベントを有効にします。

- アップロードルール

  外部ネットワーク アクセスのないサイトが Active IQ ルールファイルを Unified Manager に手動でアップロードできるようにする「アップロードルール」ダイアログボックスを起動します。ルールはクラスターの AutoSupport メッセージに対して実行され、Active IQ プラットフォームで定義されたシステム構成、

ケーブル配線、ベストプラクティス、および可用性に関するイベントを生成します。

- **EMS**イベントを購読する

  EMSイベントの購読ダイアログボックスを起動します。このダイアログボックスを使用すると、監視対象のクラスタから特定のイベント管理システム（EMS）イベントを受信するように購読できます。EMSは、クラスタ上で発生するイベントに関する情報を収集します。登録済みのEMSイベントに関する通知を受信すると、適切な重要度でUnified Managerイベントが生成されます。

リスト ビュー

リスト ビューには、無効なイベントに関する情報が表形式で表示されます。列のフィルタを使用して、表示するデータをカスタマイズできます。

- イベント

  無効なイベントの名前が表示されます。

- 重大度

  イベントの重大度が表示されます。重大、エラー、警告、情報のいずれかです。

- ソースタイプ

  生成されるイベントのソース タイプが表示されます。

Active IQ Unified Manager でイベントダイアログボックスを無効にする

[イベントの無効化]ダイアログ ボックスには、イベントを無効にできるイベント タイプのリストが表示されます。イベント タイプの特定の重大度のイベントを無効にするか、一連のイベントを指定して無効にできます。

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

[イベント プロパティ**]**領域

[イベント プロパティ]領域で、イベントについて次のプロパティを指定します。

- イベントの深刻度

  重大度タイプに基づいてイベントを選択できます。タイプは、「重大」、「エラー」、「警告」、または「情報」のいずれかになります。

- イベント名に以下が含まれる

  名前に指定した文字を含むイベントをフィルタできます。

- イベントのマッチング

  指定した重大度タイプおよびテキスト文字列に一致するイベントのリストが表示されます。

- イベントを無効にする

無効にするように選択したイベントのリストが表示されます。

イベント名に加えてイベントの重大度も表示されます。

コマンド ボタン

選択したイベントについて、各コマンド ボタンを使用して次のタスクを実行できます。

- 保存して閉じる

  イベント タイプを保存してダイアログ ボックスを閉じます。

- キャンセル

  変更内容を破棄してダイアログ ボックスを閉じます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。